SDM-V

SD-Gate V Manager Ver. 1.0 操作ガイド



フジデジタルイメージング株式会社

2011.9.7

本書の内容は予告なしに変更されることがあります。 Windows は米国 Microsoft の登録商標です。 FeliCa および PaSoRi は Sony 株式会社の登録商標です。 All Right Reserved 2011. フジデジタルイメージング株式会社

1.	はじめに	1
	■11 はじめに	1
	 ■1.2 動作環境 	
	■1.3 SDM-Vのしくみ	2
	■1.4 基本的な使用手順	4
2.	インストール / アンインストール	6
	■2.1 SDM-V のインストール	6
	■2.2 指紋スキャナのドライバのインストール	9
	■2.3 IC カードリーダのドライバのインストール	13
	■2.4 2台以上の PC に SDM-V をインストールする場合	14
	■2.5 SDM-Vのアンインストール	
З.	SDM-Vの起動	21
	■3.1 はじめて起動するとき	
	■3.2 管理者ログイン	
4.	部署管理	24
	■4.1 部署情報の新規登録	24
	■4.2 部署情報の照会	
	■4.3 部署情報の編集	
	更新	
	削除	
	■4.4 部署情報の詳細設定を編集	
	所属ユーサの追加	
	別周ユーリの削除	
5.	ユーザ管理	29
	■5.1 ユーザ情報の新規登録	
	■5.2 ユーザ情報の照会	
	■5.3 ユーザ情報の編集	
	更新	
	削除	31
	■5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集	
	IC カードの登録	
	IC カードの照合	
	IC カードの削除	
	指紋の登録	

指紋の照合	
指紋の削除	
認証方法の選択	
ゲート権限の選択	
通行許可ゲートの追加	
通行許可ゲートの削除	

6. ゲート管理 ______ 40

	6.1	ゲート情報の新規登録	
I	6.2	ゲート情報の照会	41
I	6.3	ゲート情報の編集	
		更新	
		削除	
I	6.4	ゲート情報の詳細設定を編集	
		SD-Gate V の接続	
		SD-Gate V の切断	
		開錠の設定	
		センサー設定	
		通行許可ユーザの追加	
		通行許可ユーザの削除	
I	6.5	アンチパスバックの設定	
I	6.6	接続エラーについて	
		接続エラーメッセージ	
		接続エラーログ	46

7.	ログ表示	47
	■7.1 ログ表示 ■7.2 ログの CSV 出力	47 48
	 ■7.3 ログの保存期間 ■7.4 ログ収集について ■7.5 ログ表記について 	
8.	その他の設定	51
	■8.1 ログの自動出力 ■8.2 日次処理の設定	51
9.	一括処理	54

■9.1	ゲートに日時を設定	.54
∎9.2	ゲートにユーザを反映	55
9.3	ユーザをインポート	56
∎94	コーザをエクスポート	58
■ 95	ニー テビニティート	59
-0.0		00

■9.6	部署をエクスポート	60
■9.7	ゲートをインポート	61
∎9.8	ゲートをエクスポート	63
10. バ <u>y</u>	ックアップとリカバリ	64
∎10.1	1 データのバックアップ	64
∎10.2	2 データのリカバリ	64
∎10.3	3 データの再反映	65
11. よ [、]	くある質問	66

1. はじめに

■1.1 はじめに

この度は、SDM-V をご利用いただきありがとうございます。SDM-V をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。

SDM-VはSD-Gate V管理用のアプリケーションです。SD-Gate Vを接続したコンピュータでのみ 正しくご使用いただけます。SD-Gate Vの取扱にあたっては、SD-Gate V に付属の取扱説明書を必ずお 読みください。

なお、SD-Gate V および弊社指定入力装置以外の指紋・カード認証装置を接続して SDM-V をご使用いただくことはできませんのでご了承ください。

■1.2 動作環境

SDM-V をご利用いただけるコンピュータの環境は次の通りです。

対応機種: 各社 DOS/V パソコン CPU: Pentium4 2GHz 以上 メモリ: 512Mb 以上 ハードディスクの空き: 1Gb 以上 ディプレイ: SVGA カラー600x800 以上 CD-ROM ドライブ搭載 対応 OS Windows XP/ 2000/Vista/2003 Server R2 (すべて 32bit) ※本書では Windows XP professional を例に説明いたします。ご了承ください。

1

■1.3 SDM-Vのしくみ

SDM-V はユーザ情報、ゲート情報、ログ情報を保存するデータベースを PC 上に持っています。 SD-Gate V の内蔵メモリにこれらの情報を配信したり、あるいは SD-Gate V のメモリに保存された情報を PC のデータベースにコピーすることで、SD-Gate V の管理を行います。

く ゲート情報 >

SD-Gate V に割り当てた IP アドレスや、指紋認証ユニットのクライアント ID などの情報を SDM-V に登録します。この情報をもとに、SDM-V はネットワークに接続された SD-Gate V 指紋認証ユニット を一台ずつ識別して、通信を行います。

くわしい操作方法については「6. ゲート管理」をごらんください。



くユーザ情報 >

SDM-V で指紋やIC カードの情報を登録すると、まず PC 上のデータベースに情報が登録されます。つづいて【ゲートに反映】という機能を実行することにより、これらの情報はネットワーク回線を通じてSD-Gate V の内蔵メモリにコピーされ、SD-Gate V で指紋・IC カード認証が行えるようになります。 くわしい操作方法については「5. ユーザ管理」をごらんください。



< ログ情報 >

SD-Gate V で指紋・IC カード認証を行ったり、エラーが発生したりしたときは、ログ情報が作成されて SD-Gate V の内蔵メモリに保管されます。SDM-V は SD-Gate V のメモリをチェックして、ログを見つけると PC 上のデータベースにログ情報をコピーします。

PC 上にコピーされたログ情報は、90 日以上経過すると自動的に削除されます。長期間の保存が必要な 場合は、CSV ファイル出力をおすすめします。SD-Gate V の内蔵メモリでは約 100,000 件のログが保 存され、それを超えると古い順に上書きされます。これらのログについての詳細は「7. ログ表示」をごら んください。



く指紋の登録・照合>

SDM-V は、PC に接続した指紋スキャナで指紋を読み取ると、その情報を SD-Gate V に転送し SD-Gate V に搭載された指紋認証エンジンで特徴点の抽出や暗号化などの処理を行って、特徴点情報を PC 側で受け取ります。そのため、SDM-V で指紋の登録や照合を行うには、少なくとも1 台の SD-Gate V が接続されている必要があります。

① PC に接続した指紋スキャナで指紋を入力すると、入力情報が SD-Gate V に転送されます。



② 入力情報は SD-Gate V で特徴店抽出や暗号化の処理が行われ、PC に戻って SDM-V のデータ ベースに登録されます。



③ ユーザの利用するゲートの設定などを行うと、この指紋情報を含むユーザ情報がSD-Gate V に 配信され、それぞれの SD-Gate V で指紋認証ができるようになります。



■1.4 基本的な使用手順

まず SDM-V をインストールします。「2.1 SDM-V のインストール」を行ってください。 指紋を利用する場合は「2.2 指紋スキャナのドライバのインストール」を、IC カードを利用する場合は「2.3 IC カードリーダのドライバのインストール」を行ってください。

これらのインストールが完了したら、「3.1 はじめて起動するとき」 に従って SDM-V を起動し、ユー ザやゲートの登録を行ってください。

SD-Gate V を設置する			
SD-Gate V 取扱説明書をご覧ください			
 SDM-VをPCにインストールする			
······「2.1 SDM-V のインストール」をご覧ください			
SDM-V を起到9 る 「3.1. はじめて起動するとき」をご覧ください			
SDM-V にユーリを豆 好 9 る 「5. ユーザ管理」をご覧ください			
SDM-VにSD-Gate Vを登録する			
「6. ゲート管理」をご覧ください			
ログを管理する			
・・・・・「7. ロ グ表示」 をご覧ください			

SDM-V には次のような機能があります。各機能についての詳細は、操作ガイドの各章をごらんください。

メニュー		操作ガイド
部署管理	部署情報の登録・更新・削除を行います。	4. 部署管理
ユーザ管理	IC カードや指紋などのユーザ情報の登録・更	5. ユーザ管理
	新・削除を行います。	
ゲート管理	SD-Gate Vの登録・更新・削除を行います。	6. ゲート管理
ログ表示	認証ログ・操作ログ・エラーログの表示や CSV	7. ログ表示
	出力を行います。	
設定	_	
ログの自動出力	ログを自動で CSV ファイルに出力します。	8.1 ログの自動出力
日次処理の設定	時刻合わせ、データベースの最適化、ユーザの再	8.2 日次処理の設定
	登録、古いログの削除等の設定を行います。	
一括処理	_	
ゲートに日時を設定	PC の現在の日時を SD-Gate V に設定します。	9.1 ゲートに日次を設定
ゲートにユーザを反映	SD-Gate V に反映されていないユーザ情報を、	9.2. ゲートにユーザを反映
	一括して反映します。	
ユーザをインポート	CSV ファイルから、ユーザ情報をインポートし	9.3 ユーザをインポート
	ます。	
ユーザをエクスポート	CSV ファイルへ、ユーザ情報をエクスポートし	9.4 ユーザをエクスポート
	ます。	
部署をインポート	CSV ファイルから、部署情報をインポートしま	9.5 部署をインポート
	す。	
部署をエクスポート	CSV ファイルへ、部署情報をエクスポートしま	9.6 部署をエクスポート
	す。	
ゲートをインポート	CSV ファイルから、ゲート情報をインポートし	9.7 ゲートをインポート
	ます。	
ゲートをエクスポート	CSV ファイルへ、ゲート情報をエクスポートし	9.8 ゲートをエクスポート
	ます。	

2. インストール / アンインストール

■2.1 SDM-V のインストール

お使いの PC に SDM-V for FeliCa または SDM-V for Mifare をはじめてインストールするときは、 次の手順でインストールを行います。すでに for FeliCa または for Mifare がインストールされている場 合は、先にアンインストールを行ってください。PC の故障などで再インストールが必要な場合は「10. バ ックアップとリカバリ」をごらんください。

 SDM-V インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に SDM-V インストール ル画面が表示され、インストールプログラムが始まります。(※自動再生しない場合には CD の 中にある setup.exe をダブルクリックして下さい。)

InstallShield Wizard	
	インストールの準備をしています。 SDM-V for Felica セットアップは、プログラムセットアップの 手順をご案内する InstallShield Wizerd を準備しています。し はらくお待ちくたさい。
	オペレーティングシステムのバージョンを確認しています
	キャンセル

2. SDM-V のセットアップ画面が表示されたら、【次へ】をクリックします。



3. 使用許諾契約書をお読み下さい。同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、 【次へ】をクリックします。

🙀 SDM-V for Felica - InstallShield Wizard	×
使用許諾契約 次の使用許諾契約書を注意深くお読みください。	
ソフトウェア使用許諾契約	
この契約(以下「本契約)という)は、「SD-Gate Manager」(以下「本ソフトウェア」 という)の使用について、弊社株式会社(以下「弊社」という)と本ソフトウェアを使用されるお客 間で練結される契約です。	∰≿თ
1. 使用許諾契約の成立 お客様が本ソフトウェアをインストールされた場合には、本契約に同意されたものと見なされ、 お客様との間に使用許諾契約が成立し、効力を生じます。	峰社と
	×
 ● 使用許諾契約の条項[「同意します(A)] ○ 使用許諾契約の条項[「同意しません(D) 	
InstallShield	
〈戻る(B) 次へ(M) > キャ	ンセル

4. ユーザ情報を入力し、【次へ】をクリックします。

🛃 SDM-V for Felica - InstallShield Wizard	\mathbf{X}
ユーザ情報	
情報を入力してください。	
ユーザ名(山):	
80	
所属():	
SDI	
このアプリケーションを次のユーザに対してインストールします:	
 このコンビュータを使用するすべてのユーザ(A) 	
○ SDI のみ(M)	
InstallShield	(№)> +++ンセル

セットアップタイプを選択では、【すべて】を選択し、【次へ】をクリックします。(※インストール先は、C:¥Program Files¥SecureDesign¥SDMV_F(またはSDMV_M)の下です。別の場所にインストールしたい場合は、【カスタム】を選択し、場所を指定します。)

🛃 SDM–V for Felica – InstallShield Wizard 🛛 🔀
セットアップ タイプ ご利用方法に合わせて最適なセットアップ タイプを選択してください。
セットアップ タイプを選択してください。
● すべてのブログラム機能をインストールします。 (最大のディスク 容量を必要とします)
○カスタム(S) インストールするプログラム機能、およびインストール先を選択す ることができます。製品をよくご存知のユーザにお勧めします。
InstaliShield

6. 【インストール】をクリックします。



7. プログラムのインストールが始まります。



8. 次の画面が表示されたら、【完了】をクリックします。



9. SDM-V のインストールが完了しました。

■2.2 指紋スキャナのドライバのインストール

SDM-V でユーザの指紋登録を行うには、付属の指紋スキャナのドライバをインストールする必要があります。

1. PC を起動し、指紋スキャナをパソコンの USB コネクタに接続します。



- 2. 指紋スキャナのドライバが自動的にインストールされます。自動的にインストールされず、「新 しいハードウエアの検出ウィザード」が起動した場合は、次の3.からの手順でインストールし ます。
- 3. 「ソフトウエア検索のため、Windows Update に接続しますか?」と表示された場合、【いい え、今回は接続しません】を選択し、【次へ】をクリックします。(この画面は表示されないこと があります。4. へお進みください。)
- 4. 【ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)】を選択し、【次へ】をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザ	- k
	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始
	このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします: SD-Gate Desktop FP Scanner
	○ ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディ スカがある場合は、挿入してください。
	インストール方法を選んでください。
	● シフトウェアを自動的にインストールする(推奨)の) ● 一覧または特定の場所からインストールする(詳細)⑤)
	続行するには、 〔次へ〕 をクリックしてください。
	〈戻る(四) 次へ(2) キャンセル

5. 「SD-Gate Desktop FP Scanner」を選択し、【次へ】をクリックします。

新しいハー	ドウェアの	検出ウィザード					
ፑወ⊸ፄ	這からハー	ドウェアに最連なソフト・	ウェアを選ん	でください。			
í F	J SC	-Gate Desktop FP Sc	anner				
I.	兑明		バージョン	製造元		場所	
	SD-Gate	Desktop FP Scanner	5.1.2600.0	SecureDesignKK.	¢	:¥windows¥inf¥	u:
<							•
♪	このドラ ドライバ	イバはデジタル署名され D <u>署名が重要な理由</u>	いていません	•			
				< 戻る(B)	次へ(<u>N</u>)	> ++	レセル

6. 【続行】をクリックします。



7. インストールが開始されます。

新しいハードウ	リェアの検出ウィザード	
ソフトウェアを	をインストールしています。お待ちください	<u> </u>
Ţ	SD-Gate Desktop FP Scanner	
	システムの復元ポイントを設定し、将来システムの復元が必要となる場 合にそなえて古いファイルのバックアップを作成しています。	
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル	۶.

8. 【完了】をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザー	4
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました。
	SD-Gate Desktop FP Scanner
	「完了」をクリックするとウィザードを閉じます。
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

9. 指紋スキャナに割り当てられる COM ポート番号は 1~9 でなければなりません。次の「COM ポート番号の確認・変更」を行って、指紋スキャナに COM1~9 を割り当ててください。

< COM ポート番号の確認・変更 >

1. デスクトップの【マイコンピュータ】アイコンを右クリックし、【プロパティ】を選択します。



2. 【ハードウェア】タブをひらき、【デバイスマネージャ】ボタンを押します。

システムのプロパティ			<u>?</u> ×
▲ ▲ ▲ コンピュータ名 ハードウェア	? 羊細設定 システ	ムの復元│自動更新	所 リモート
-デバイス マネージャ デバイス マネージャセ デバイス マネージャは ウェア デバイスを表示	、コンピュータにインスト します。デバイス マネ・	・ールされているすべて -ジャを使って、各デ/	:のハード バスのプ
ロパティを変更できま	đ.	<u>রু/নির হুর-</u> হিং	
_ ドライバ			
ドライバの署名を使う 換性を確認できます。 方法を Windows Up	と、インストールされてい 、ドライバ取得のために date を使って設定でき	いるドライバの Windo Windows Update / きます。	ws との互 \接続する
ドライバの署	名(S)	Windows Update	w
ハードウェア プロファイル ハードウェア プロファイ することができます。	ルを使うと、別のハート	「ウェアの構成を設定	し、格納
		ハードウェア プロファイ	μ®
	OK	キャンセル	適用(A)

3. 【ポート(COM と LPT)】をダブルクリックし、「SD-Gate Desktop FP Scanner」の右に 表示されている番号を確認します。もしも「COM9」よりも大きい COM ポート番号が割り当 てられている場合は、次のステップからの変更手続きを行ってください。



4. 「SD-Gate Desktop FP Scanner」を右クリックし、【プロパティ】を選択します。



5. 【ポートの設定】タブをひらき、【詳細設定】ボタンを押します。

SD-Gate Desktop FP Scanner (COM2)のプロパティ 全般 ポートの設定 ドライバ 詳細	<u>?</u> ×
ビット/秒(B): 9600 データビット(D): 8 パリティ(P): なし ストップ ビット(S): 1	
フロー制御(E): なし (注解語設定(A)	<u>9</u>

6. 【COM ポート番号】のドロップダウンリストから、COM1~9の範囲内のポートを選択し、 【OK】ボタンを押してください。

2の評判設定							?
───▼ FIFO バッフ 接続エラー パフォーマン	77を使用する。 を修正するには 7スを上げるには	(16550 互換の は、設定を小さ は、設定を大き	D UART が必要)(U) くしてください。 くしてください。				OK キャンセル
受信バッファ(<u>R</u>):	低 (1)	-		—-Ţ	高 (14)	(14)	
送信バッファ(工):	低 (1)	-		—-Ţ	高 (16)	(16)	

- 注意 -

SDM-V 起動中は、指紋スキャナを USB ポートからはずさないでください。はずしたのち再度 USB ポートに差し込むとエラーとなります。その場合は、いったん SDM-V を終了して USB ポートの指紋スキャナを抜き、もういちど差し込みなおしてから SDM-V を再度起動してください。

■2.3 IC カードリーダのドライバのインストール

< FeliCa カードをご利用の場合 >

FeliCa カードリーダ「PaSoRi」をご利用になれます。PC にドライバをインストールしてください。インストール方法および使用方法については、「PaSoRi」の取扱説明書に従ってください。

※ Windows 2003 Server の場合

「PaSoRi」の取扱説明書の方法ではドライバがインストールできない場合があります。その場合は次の方法でドライバをインストールしてください。

- 1. PCのUSBポートにPaSoRiを接続します。
- **2.** 【新しいハードウエアの検出ウィザード】が起動したら、【リストまたは特定の場所からインストールする】を選択し、【次へ】をクリックします。
- **3.** 【次の場所を含める】にチェックを入れ、SDM-Vインストール CD の中の 「FeliCa_USB_Driver」>「2k」フォルダを指定し、【次へ】をクリックします。
- 4. インストールが開始します。
- 5. 完了したら、【完了】をクリックしてウィザード画面を閉じます。

< Mifare カードをご利用の場合 >

SDM-V 用 Mifare カードリーダー(別売)をご利用になれます。カードリーダーの AC アダプタを電源に差し込み、お使いの PC の COM ポートに接続してください。(ドライバのインストールは必要ありません。)

■2.4 2台以上の PC に SDM-V をインストールする場合

※ この方法は、PC・ネットワーク管理者等の上級者向けのご利用方法です。PC・ネットワークについ ての十分な知識が必要となります。ご注意ください。

通常の SD-Gate V の管理は、1 台の PC にインストールした SDM-V を使用して行います。2 台以上 の PC に SDM-V をインストールすると、それぞれの PC に SDM-V データベースが作成されるため、デ ータベースが分散し不整合が発生してしまいます。2 台以上の PC に SDM-V をインストールして使用す る場合には、いずれか1 台の PC を <u>SDM-V サーバ</u>として共有化し、他の PC からはこの SDM-V サーバ のデータベースにアクセスすることで、2 台以上の PC で SDM-V を使用することができます。

- 注意 -

- ・ 接続する PC が、お使いのネットワーク環境において、互いの PC にアクセスできる状態にある ことを確認してください。接続が正しくない場合、または接続にパスワードが必要な場合等にお いては、SDM-V が正しく動作しないことがあります。
- 2台以上の PC で同時に SDM-V を起動して使用することはできません。SDM-V を起動する際は、他の PC で SDM-V を使用していないことを必ず確認してください。
- ・ ログの自動出力機能(「8.2 ログの自動出力」を参照)は正常に動作しない場合があります。
- ・ これらの設定等については、必ずご利用になるお客様ご自身の責任においてご利用ください。
 - まず SDM-V サーバとなる PC に SDM-V・ドライバをインストールします。インストール方法については「2.1 SDM-V のインストール」「2.2 指紋スキャナのドライバのインストール」「2.3 IC カードリーダのドライバのインストール」をご参照ください。



 インストールが完了すると、C:¥Program Files¥SDMVDATA¥ というフォルダが作成され ます。このフォルダを右クリックし【プロパティ】を選択します。【共有】タブを開き、【ネット ワーク上でこのフォルダを共有する】および【ネットワークユーザーによるファイル変更を許可 する】にチェックを入れます。



 SDM-V のインストールフォルダ(デフォルトでは C:¥Program Files¥ SecureDesign¥SDMV_F(または SDMV_M))にある次の2つのファイルをコピーし

て、C:¥Program Files¥SDMVDATA¥にペーストします。

Template.dat

GateLock.dat

SDM-V サーバの設定はこれで完了です。

4. つづいて、2 台目の PC にも同様に SDM-V・ドライバをインストールします。



5. Windows のスタートメニューより、【設定】> 【コントロールパネル】> 【管理ツール】を選択 します。



6. 【データソース (ODBC)】を選択します。



7. 【システム DSN】タブを開き、「gateV_mdb」をクリックし、【構成】ボタンを押します。



8. データベースのパスを変更するため、【選択】ボタンを押します。

ODBC Microsoft Access セットアップ	? 🛛
データソース名(N): <mark>gateV_mdb</mark>	OK
	キャンセル
	ヘルプ(<u>H</u>)
テージンティン C*Program Files¥SDMVDATA¥SDMV.mdb 選択⑤ 作成⑥ 修復 最適化	詳細設定(<u>A</u>)
- システム データベース	
∈ tal.(E)	
○ データベース(I):	
システム データベース (2)	オブション(0)>>

9. 【ネットワーク】ボタンを押します。

データベースの選択		
データベース名(A) SDMV.mdb SDMV.mdb	フォルダ"(D): c*program files¥sdmvdata C* Program Files ● SDMVDATA	OK キャンセル ヘルプ(出) □ 読み取り専用(®) □ 排他(E)
ファイルの種類(①: Access データベース (*.m ▼	ドライブ(⊻): ■ c: ローカル ディスク _	ネットワーク(1)

10. ネットワークドライブの割当を行います。【参照】ボタンを押し、2. で設定した SDM-V サ ーバの共有フォルダを選択します

ネットワーク ドライブの割り当	τ 🛛 🛛
	共有ネットワーク フォルダに接続して、接続にドライブ文字を書的当てる ことができます。ドライブ文字が書的当てられると、「マイコンピュータ」か らそのフォルダにアクセスできるようになります。 接続するフォルダと使用するドライブ文字を指定してください。
	ドライブ(D): Z. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	mu キャッコハーキス有 ✓ ログオン時に再接続する(R) <u>異なるユーザ</u> を汚続します。 オンライン記憶感にサインアップするか、またはネットワークサ ーバーに接続します。
	< 戻る(2) 完了 キャンセル

11. 【フォルダ】に SDM-V サーバの共有フォルダが指定されていることを確認し、【完了】ボタンを押します。



12. 割り当てたドライブが選択されていることを確認し、【OK】ボタンを押します。

データベースの選択		
データベース名(<u>A</u>) SDMV.mdb	フォルダ(<u>D</u>): 2 ⁹	ОК
SDMV.mdb	🔁 z¥	キャンセル
		ヘルプ(円)
		□ 読み取り専用(<u>R</u>)
		□ 排他(E)
~	~	
ファイルの種類(T):	ドライブ(い):	
Access データベース (*.m 💌	z: ¥¥Gnrlctrl_01¥SDMV	<u></u>

13. データベースのパスが、割り当てたドライブになっていることを確認し、【OK】ボタンを押します。

ODBC Microsoft Access セットアップ	? 🗙
データソース名(<u>N</u>): gateV_mdb	С ок 🗋
[说8月(<u>D</u>):	キャンセル
データベース	
データベース: Z¥SDMV.mdb	
[]	言中和普及正(四)…
レステム データベース	
⑦ t _a L(E)	
○ データベース①:	
システム データベース(1)	
	オブション(0)>>

- SDM-Vのインストールフォルダ(デフォルトのインストールフォルダは C:¥Program Files¥ SecureDesign¥SDMV_F(または SDMV_M))にある「SDMV.ini」をテキストエ ディタで開きます。
- 15. 次の記述を変更します。

F_GATELOCK=C:¥Program Files¥SecureDesign¥SDMV_F¥GateLock.dat F_TEMPLATE=C:¥Program Files¥SecureDesign¥SDMV_F¥template.dat この2つのファイルのパスを、3.で SDM-V サーバの共有フォルダにコピーしたファイルの パスに変更します。サーバの2つのファイルが、エクスプローラ等でこの PC から見えるこ とを確認してください。

これで2台目の設定は完了です。3台目以降は4.~15.の手順を繰り返してください。

16. それぞれの PC で SDM-V が起動し動作することを確認してください(起動および動作につ

いては「3. SDM-Vの起動」以降のページをご参照ください)。同時に2台以上で起動する ことはできない点に、ご注意ください。

起動しないとき・起動時にエラーとなるときは、次のことをご確認ください

- ・ ODBC のデータベースのパスは正しく設定されていますか?お使いの PC のエクスプローラな どで、そのデータベースファイルの存在を確認できますか?
- ・ SDMV.ini ファイルに記述したファイルのパスは正しいですか? お使いの PC のエクスプロー うなどで、2つの dat ファイルの存在を確認できますか?
- ・ 設定したネットワークドライブの状態が「切断」になっていませんか?
- ・ 2台以上の PC で同時に SDM-V を起動していませんか?

■2.5 SDM-Vのアンインストール

SDM-V インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に SDM-V アンインストール画面が表示され、アンインストールプログラムが始まります。(※自動再生しない場合には CD の中にある setup.exe をダブルクリックして下さい。)

InstallShield Wizard	
5	インストールの準備をしています。 SDM-V for Mifare セットアップは、プログラムセットアップの 手順をご案内する InstallShield Wizerd を準備しています。し はらくお待ちくたさい。
	オペレーティングシステムのバージョンを確認しています
	キャンセル

2. SDM-Vのセットアップ画面が表示されたら、【次へ】をクリックします。



3. 【削除】を選択し、【次へ】をクリックします。



4. 【削除】をクリックします。



5. プログラムのアンインストールが始まります。



6. 次の画面が表示されたら、【完了】をクリックします。



7. SDM-Vのアンインストールが完了しました。

3. SDM-V の起動

SDM-Vをはじめてご利用になる場合は、「3.1 はじめて起動するとき」をお読みください。

ユーザ登録(「5.ユーザ管理」参照)で管理者権限のユーザを登録した場合は起動時にログインが必要 になります。「3.2 管理者ログイン」をお読みください。管理者権限のユーザを登録しなかった場合は「3.1 はじめて起動するとき」と同様に起動します。

■3.1 はじめて起動するとき

1. Windows のスタートメニューより、【プログラム】>【Secure Design】>【SDM-V for FeliCa】 (または【SDM-V for Mifare】)をクリックして下さい。



2. SDM-V が起動します。



まずは次の流れでデータを登録してみましょう。基本的な操作は次の3ステップです。
 ①ユーザを登録します。「5. ユーザ管理」をお読み下さい。
 ②ゲートを登録します。「6. ゲート管理」をお読みください。
 ③ログを確認します。「7. ログ表示」をお読みください。

ユーザとゲートの登録の順序は入れ替わってもかまいません。③まで確認できたら、基本的な 操作は完了です。それぞれの操作方法については目次をごらんになり、各機能の説明ページをご 参照ください。

■3.2 管理者ログイン

すでに SDM-V に管理者(「5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集」内の「ゲート権限」をご参照ください) が登録されており、その認証方法が設定されている場合、SDM-V を起動するには管理者によるログイン 認証が必要になります。管理者の IC カードまたは指紋のどちらかでログインします。

<IC カードでログイン >

1. IC カードリーダーを PC に接続します。

 Windows のスタートメニューより、【プログラム】>【Secure Design】>【SDM-V for FeliCa】 (または【SDM-V for Mifare】)をクリックして下さい。



3. 【管理者認証】画面が表示されます。【IC カード照合】ボタンを押して下さい。「5. ユーザ管理」 で登録された管理者の IC カードとの照合を行います。

管理者認証		×
管理者のICカー	ドまたは指紋を!	照合して下さい
「「「「「「「「「」」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「」」」「「」」」」	指紋照合	終了

- **4.** IC カードリーダにカードをタッチします。
- 5. 認証に成功すると、SDM-V が起動します。接続が有効なゲート(「6.4 ゲート情報の詳細設定 を編集」内の「SD-Gate V の接続」参照)が登録されている場合は、起動と同時に SD-Gate V の自動ログ収集が開始します。

く指紋でログイン>

- **1.** PC にデスクトップ指紋スキャナを接続します。
- **2.** Windows のスタートメニューより、【プログラム】>【Secure Design】>【SDM-V for FeliCa】 (または【SDM-V for Mifare】)をクリックして下さい。
- **3.** 【管理者認証】画面が表示されます。【指紋照合】ボタンを押して下さい。「5. ユーザ管理」で 登録された管理者の指紋との照合を行います。

<u>※このとき、接続が有効なゲートが1台も登録されていない場合はエラーとなりますのでご注意</u> <u>ください。</u>

SDM-V	for Felica
8	指紋の登録・照合には、SD-Gate Vの接続を有効にする必要があります。
	<u>OK</u>

4. デスクトップ指紋スキャナに指を乗せます。認証に成功すると SDM-V が起動します。起動と 同時に SD-Gate V の自動ログ収集が開始されます。

指紋認証		×
┌指紋認証―		
	指紋読取	
	指を離して下さい。	
	リトライ 中止	

指紋認証でのログインについて

指紋ログインには、少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります(「5.4 ユーザ 情報の詳細設定を編集」内の「SD-Gate V の接続」をご参照ください)。SDM-V にゲートが1 台も登録されていなかったり、登録されているすべてのゲートの接続が無効である場合は、指紋で のログインはできません。管理者を登録する場合は IC カードとの併用を強くおすすめします。

4. 部署管理

ユーザの所属する部署を登録して管理します。【部署管理】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【部 署管理】を選択して下さい。(部署は必ずしも登録する必要はありません。登録しなかった場合、すべての ユーザが【無所属】として登録されます。)

部署管理 ユーザ管理	プート管理 ログ表示	[H 7
部罢答 情報照	렸순		
モード 国会 新規登録 編集 詳細設定を編集		詳細設定	
部署情報	<u>新展ユーザの通知</u> ユーザ10 ユーザ名	ユーザ名 (ローマ字) 備者	所属ユーザの
部署10			
部署名			
[備考			
登錄日 最終更新日			
	4		
部者リスト	-		
00000 無所属			

■4.1 部署情報の新規登録

あらたに追加したい部署の情報の登録を行います。

1. 【新規登録】ボタンを押します。



2. 各項目を入力します。

- 3. 【登録】ボタンを押します。
- ●面左下の【部署リスト】に、登録した部署が追加されていれば、登録完了です。
 なお、インポート機能を使用して、複数の部署を一括して登録することもできます。「9.5 部署

をインポート」をご参照ください。

■4.2 部署情報の照会

登録されている部署の情報の照会を行います。

1. 【照会】ボタンを押します。



2. 画面左下の【部署リスト】上で、照会したい部署名をクリックします。

	部署作	青報		
部署ID	00001			-
部署名	総務部			
備考				
登録E	2007/05/28	最終更新日	2007/05/28	
検索	肖耶余	更新	登録	
	部署リ	スト		=
部署ID 部署	·名			
00000 無所	属			
00001 総務	部			

3. クリックした部署に所属しているユーザのリストが、画面右の【詳細設定】に表示されます。

■4.3 部署情報の編集

登録されている部署の情報の更新・削除を行います。

更新

1. 【編集】ボタンを押します。



- 2. 画面左下の【部署リスト】上で、更新したい部署名をクリックします。
- 3. 【部署情報】の内容を変更します。(※部署IDの変更はできません。)
- 4. 【更新】ボタンを押します。
- 【部署リスト】上で、更新した部署名をクリックし、更新した内容に変更されていれば完了です。 なお、インポート機能を使用して、複数の部署を一括して更新することもできます。「9.5 部署 をインポート」をご参照ください。

削除

1. 【編集】ボタンを押します。



- 2. 【部署リスト】上で、削除したい部署名をクリックします。
- 3. 【削除】ボタンを押します。
- 4. 【部署リスト】から削除したい部署が削除されていれば完了です。

■4.4 部署情報の詳細設定を編集

部署に所属するユーザを追加・削除します。

所属ユーザの追加

※所属ユーザの追加を行うには、先にユーザの登録を行う必要があります。「5. ユーザ管理」で ユーザ登録を行ってください。

1. 【詳細設定を編集】ボタンを押します。

「「「」	3署管理	詳細設知
モード 照会 新	規登録 編集	詳細設定を編集
	部署情報	
部署ID	00001	
部署名	総務部	
備考		
登録E] 2007/05/28 最終更棄	折日 2007/05/28
検索	削除 更新	登録

2. 【部署リスト】上で、設定したい部署をクリックします。画面右側の【詳細設定】ウィンドウが 書き込み可能になります。 3. 画面右の【詳細設定】ウィンドウの【所属ユーザの追加】ボタンを押します。

部署管理 詳細設算	定を編集		
モード 明会 新規登録 編集 詳細設定を編集	*	細設定	
	所属ユーザの追加		所属ユーザの削除
部署情報	ニューザID ユーノ名	フリガナ 備考	
部署ID 00001	0000000001 セキュア花子	secure hanak	
	000000002 2 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	secure hanak 順考	
部者名 総務部	000000003 Eta / R + 3	secure nanak	
備考			
登録日 2007/05/28 最終更新日 2007/05/28			
検索 削除 更新 登録			
部署リスト			
部署ID 部署名			
00000 無所属			

4. 【ユーザ検索】画面が表示されるので、追加したいユーザ名をダブルクリックするか、クリックして【選択】ボタンを押して下さい。(※ユーザを検索する場合は、ユーザ名または備考を入力し、【検索】ボタンを押して下さい。)

ユーザ検索	
_ 検索	
ユーザ名	
備考	
表示数 20 👤	検索
ユーザID ユーザ名	部署
0000000004 セキュア花子4	無所
000000005 セキュア花子 5	無所
000000006 セキュア花子 6	無所
000000007 セキュア花子 7	無所
000000008 セキュア花子 8	無所
0000000009 セキュア花子 9	無所
0000000010 セキュア花子10	無所
	Þ
選択 🛛 選択すると、ウィンドウを閉じる	閉じる

5. 追加したユーザがリストに表示されていれば完了です。

所属ユーザの削除

1. 【詳細設定を編集】ボタンを押します。

部署管理	詳細設計
モード 照会 新規登録 編集 [[詳細設定を編集」
部署情報	
部署ID 00001	
部署名 総務部	
備考	
登録日 2007/05/28 最終更新E	3 2007/05/28
検索 削除 更新	登録

2. 【部署リスト】上で、設定したい部署をクリックします。画面右側の【詳細設定】ウィンドウが 書き込み可能になります。 **3.** 【詳細設定】の所属ユーザリストから削除したいユーザ名をクリックし、【所属ユーザの削除】 ボタンを押します。

部署管理 詳細設定を編集			
モード 照会 新規登録 編集 詳細設定を編集	詳細設定		
	所属ユーザの追加	所属ユーザの削除	
部署情報	ユーザID ユーザ名 フリガナ 備考		
部署ID 00001	0000000001 セキュア花子 secure hanak 0000000002 セキュア花子2 secure hanak 備考		
部署名 総務部	0000000003 セキュア花子 3 secure hanak		
備考			
登録日 2007/05/28 最終更新日 2007/05/28			
検索 前除 更新 登録			
部署リスト			
部署ID 部署名			
00000 無所属			
00001 総物部			

4. 削除したいユーザがリストから削除されていれば完了です。

5. ユーザ管理

【ユーザ管理】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【ユーザ管理】を選択して下さい。

SDA-V for Felica	
メニュー 設定 一括処理 バーザコン	
部署管理 ユーザ管理 ゲート管理	ログ表示 終了
ユーザ管理 情報照会	
モード <u> 照会</u> 新規登録 <u> 編集</u> 詳細設定を編集	詳細設定 10カード認証情報
ユーザ情報	<u>カード語合 カード登録</u> 指約2727倍報
ユーザ10 ユーザ名 ユーザ名 (ロ-?字) 備考 部署名 <u>無所属 </u> 登録日 最終更新日	指紋照合 左手 右手 指紋包括 中指 人差 親指 印音 人差 親指 親指 原合したい指をクリックしてください。
	- 認証方法 「ICカード 「指紋 のユーザ C 管理者
所属部署 黒所属 <u>・</u> Г 全ユーザ表示 ユーザ10 ユーザ名	通行許可 通行許可グートの追加 ダートID ダートID ダート #限 認証モード 反映 「 テ 東線鉄ゲートへの通行許可情報も表示(ゲートに反映するには、このチェックを外して下さい。)
	Anti-Passback 状態クリア
✓ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ザー管理サーバ 稼動中

■5.1 ユーザ情報の新規登録

あらたに追加したいユーザの情報の登録を行います。

1. 【新規登録】ボタンを押します。

ユーザ管理	新規登録
「モード」 照会 新規登録	■集 詳細設定を編集
	ユーザ情報
ユーザID	000000004
ユーザ名	セキュア花子
ユーザ名 (ローマ字)	secure hanako
備考	2007年入社
部署名	管理部
登録	日 最終更新日
検索 削	除 更新 登録

2. 各項目を入力します。

ユーザロ・・・・・・・	必須項目です。数字 10 桁を入力します。例:0000000001
ユーザ名 ・・・・・	必須項目です。全半角 25 字まで入力できます。
ユーザ名(ローマ字)	必須項目です。英数字 50 字まで入力できます。
備考	全半角 25 字まで入力できます。
部署名	ドロップダウンリストより部署を選択します。ドロップダウンリストに

表示される部署名は「4. 部署管理」で登録した部署および「無所属」 です。

- 3. 【登録】ボタンを押します。
- 4. 画面左下のユーザリストで【所属部署】または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストに、登録したユーザが追加されていれば、登録完了です。完了後は画面右の【詳細設定】ウィンドウの編集を行います。「5.4 詳細設定を編集」をお読みください。 なお、インポート機能を使用して、複数のユーザを一括して登録することもできます。「9.3 ユ

ーザをインポート」をご参照ください。

■5.2 ユーザ情報の照会

登録されているユーザの情報の照会を行います。

1. 【照会】ボタンを押します。



- 2. 画面左下段の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリスト から、照会したいユーザ名をクリックします。
- 3. クリックしたユーザの設定内容が、画面右の【詳細設定】ウィンドウに表示されます。

■5.3 ユーザ情報の編集

登録されているユーザの情報の更新・削除を行います。

更新

1. 【編集】ボタンを押します。
| <u>ユーザ管理</u>
情報編集 | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| モード 照会 新規登録 編集 詳細設定を編集 | | | | | |
| ユーザ情報 | | | | | |
| ユーザID 000000005
ユーザ名 セキュア花子 5 | | | | | |
| ユーザ名 (ローマ字)
Secure hanako5 | | | | | |
| 備考
 部署名 無所属 | | | | | |
| 登録日 2007/05/29 最終更新日 2007/05/29
拾委 賀原全 百新 南兵 | | | | | |
| | | | | | |
| アパクロロクロ 赤/パ/高 | | | | | |
| $\begin{array}{c} 0000000005 \\ 0000000005 \\ t \pm 1 - 7 \tilde{t} + 5 \\ 00000000000 \\ t \pm 1 - 7 \tilde{t} + 5 \\ 0 \end{array}$ | | | | | |

- **2.** 画面左下の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、更新したいユーザ名をクリックします。
- **3.** 【ユーザ情報】の内容を変更します。(※ユーザIDの変更はできません。)
- 4. 【更新】ボタンを押します。
- 【所属部署】または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、更新したユーザ 名をクリックし、更新した内容に変更されていれば完了です。
 なお、インポート機能を使用して、複数のユーザを一括して更新することもできます。「9.3 ユ ーザをインポート」をご参照ください。
- 削除
- 1. 【編集】ボタンを押します。

ユーザ管理 情報編集					
モード 照会 新規登録 編集 詳細設定を編集					
ユーザ情報					
ユーザID 000000005					
ユーザ名 セキュア花子 5					
ユーザ名(ローマ字) secure hanako5					
備考					
部署名 無所属 ▼					
登録日 2007/05/29 最終更新日 2007/05/29					
検索 削除 更新 登録					
所偶部者 無所属					
2 - 710 $2 - 720000000004 72 + 272$					
<u>0000000005</u> セキュア花子 5					
検索 削除 更新 登録 所属部署 無所属 ▼ Г 全ユーザ表示 ユーザID ユーザ名 0000000004 セキュア花子4 0000000005 セキュア花子5 0000000005 セキュア花子6					

- **2.** 画面左下段の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリスト から、削除したいユーザ名をクリックします。
- 3. 【削除】ボタンを押します。
- **4.** 【所属部署】または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、削除したいユー ザが削除されていれば完了です。

■5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集

登録されているユーザについて、次の設定を行います。

- ・ IC カードの登録・照合・削除……認証に使用する IC カードを設定します
- ・ 指紋の登録・照合・削除………… 認証に使用する指紋を設定します

- 通行許可ゲート………………どのSD-Gate Vを使用するかを設定します

これらを設定するには、まず次の操作を行います。

1. 【詳細設定を編集】ボタンを押します。

ユーザ管理 詳細設定を編集					
モード 照会 新規登録 編集 詳細設定を編集					
ユーザ情報					
ユーザID 000000001					
ユーザ名 セキュア花子					
ユーザ名(ローマ字) secure hanako					
備考					
部署名 総務部 🗸					
登録日 2007/05/28 最終更新日 2007/06/08					
検索 削除 更新 登録					
所属部署 総務部 ✓ □ 全ユーザ表示					
ユーザID ユーザ名					
0000000001 ビキュア化士 0000000002 セキュア花子2					

2. 画面左下の【所属部署】で、部署または【全ユーザ表示】を選択して表示されるユーザリストから、設定したいユーザをクリックします。画面右の【詳細設定】ウィンドウが書き込み可能になります。詳細設定の各項目の設定については、このあとの説明に従ってください。



IC カードの登録

※通行許可ゲートが登録されているときは、IC カードの登録を行えません。このあとに記述されている「通行許可ゲートの削除」を先に行ってください。

- 1. PC に IC カードリーダを接続します。
- 2. 【カード登録】ボタンを押します。

 集		
	カード会会 カード登録 カード戦争 指約認証情報 1 1	
	<u>指紋照合</u> <u>「</u> 」 上 (上 (二)) 二) 二) 二) 二 () 二) 二 () 二) ())) ()))))))))))))	

3. IC カードリーダでカードの読み取りを行います。

Felica ID読	み取り (×
_ト フェリカ ID		
Feli	caカードをかざして下さい。	-

「<<< IC カード登録済み >>>」と表示されたら登録完了です。
 ※複数のユーザに同じ IC カードを登録することはできません。

IC カードの照合

- **1.** PC に IC カードリーダを接続します。
- 2. 【カード照合】ボタンを押します。
- **3.** IC カードリーダでカードの読取りを行います。
- 4. 「照合されました。」と表示されたら、【OK】ボタンを押して終了して下さい。

IC カードの削除

- ※通行許可ゲートが登録されていると、IC カードの削除を行えません。このあとに記述されている「通行許可ゲートの削除」を先に行ってください。
- 1. 【認証方法】で、【IC カード】にチェックが入っている場合は、チェックをはずします。
- 2. 【カード削除】ボタンを押します。
- 3. 「<<< IC カード登録済み >>>」の表示が消えたら削除完了です。

指紋の登録

- 1. 指紋の登録には、少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります。「6.4 ゲート情報の詳細設定を編集」内の「SD-Gate Vの接続」をご参照になり、ゲートの接続を有効にしてください。
- 2. 【指紋登録】ボタンを押し、登録する指の枠の中をクリックします。

	詳細設定								
	<u>カード照合</u> カード登録 カード削隊								
	指紋認証情報								
	<u>北纳股合</u> 左手 右手								
	指紋登録								
1	18 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
1	登録したい指をクリックしてください。								
	「認証方法」								

3. 指紋登録画面が表示され、『指を置いて下さい。』という文字および音声ガイダンスが出ます。次 ページの<正しい指の置き方>を参考にして、指紋スキャナのセンサー面に登録する指を置いて

下さい。

指紋登録			X		
ユーザ情報					
氏名	1				
登録指	右手 親指				
指紋読	取	確認			
	ドキ里レオ		_		
1 指を直いて下ろい。					
	U	-Э́- Ф <u>н</u>			

- 注意 -

SDM-V 起動中は、指紋スキャナを USB ポートからはずさないでください。はずしたのち再度 USB ポートに差し込むと、スキャナの認識エラーとなります。その場合は、いったん SDM-V を終了して USB ポートの指紋スキャナを抜き、もういちど差し込みなおしてから SDM-V を再度起動してください。



指紋スキャナで指紋を読み取る際、指を正しくセンサーに置くことは非常に重要です。指を正しく置く ことで、SD-Gate V の認証に必要な指紋の特徴を抽出することができます。次に示す指の正しい置き方 の3つのポイントを参考にしてください。

ポイント1: 指をセンサー面に対して水平になるように置いてください。指が曲がっているとセンサー が指紋画像を正確に読み取れません。



ポイント2: センサー面の輪郭(くぼみ)に合わせて指を置いてください。



- 4. 『指を離して下さい。』というガイダンスが出たら、センサー面から指を離して下さい。
- 5. 指紋の読み取りに成功すると、再度『指を置いて下さい。』というガイダンスが出ますので、上 記4. と5. の操作を繰り返してください。登録に3回、照合テストに1回、読み取りを行いま す。指紋の読み取りに失敗した場合は【リトライ】ボタンを押し、再度読み取りを行ってくださ い。
- **6.** 『登録しました。』というガイダンスが表示され、登録した指の枠内に指紋アイコンが表示され たら登録完了です。登録に失敗した場合は【リトライ】ボタンを押し、再度 4.以降の操作を行 ってください。



指紋の照合

- 1. 指紋の照合には、少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります。「6.4 ゲート情報の詳細設定を編集」内の「SD-Gate Vの接続」をご参照になり、ゲートの接続を有効にしてください。
- 2. 【指紋照合】ボタンを押し、照合する指の指紋アイコンをクリックします。指紋照合画面が表示 され、『指を置いて下さい。』というガイダンスが出ます。指紋スキャナのセンサー面に登録する 指を置いて下さい。
- 3. 『指を離して下さい。』というガイダンスが出たら、センサー面から指を離して下さい。
- **4.** 『本人を確認しました。』というガイダンスが出たら、指紋の照合成功です。『確認できません。』 というガイダンスが出たら、指紋の照合失敗です。【リトライ】ボタンを押し、再度照合を行っ てください。

指紋の削除

- 1. 【認証方法】の、【指紋】にチェックが入っている場合は、チェックをはずします。
- 2. 【指紋削除】ボタンを押します。
- 3. 削除する指の指紋アイコンをクリックします。
- 4. 指紋削除画面が表示されます。その画面内の【削除】ボタンを押して下さい。
- 5. 削除する指の指紋アイコンが消えたら削除完了です。

認証方法の選択

認証方法は、IC カードのみ、指紋のみ、IC カード+指紋の3通りです。



認証方法	ゲートの認証方法	SDM-V の設定
IC カードのみ	IC カードが照合成功すると開錠します	【IC カード】のみチェック ON
指紋のみ	指紋が照合成功すると開錠します	【指紋】のみチェック ON
IC カード+指紋	IC カードの照合成功後、指紋の照合を	【IC カード】【指紋】
	行い、成功すると開錠します。	両方にチェック ON

ゲート権限の選択

ゲート権限・

ゲート権限は【ユーザ】または【管理者】の2通りです。

● ユーザ ○ 管理者

ゲート権限	設定
ユーザ権限	SD-Gate V にユーザとして登録されます。
管理者権限	SD-Gate V に管理者として登録されます。SDM-V 起動時のログイン権
	限を持ちます。

管理者の指紋登録について

- ・管理者を1人でも登録すると、SDM-Vの起動に管理者のICカードか指紋でのログインが必要 となります。(SDM-Vログインについては「3.2 管理者ログイン」をごらんください。)
- 管理者のログインを指紋で行うには、起動時に少なくとも1台のゲートの接続が有効である必要があります(「6.ゲート管理」参照)。すべてのゲートの接続が無効だと指紋でのログインはできません。
 管理者の登録を行う際は、指紋だけでなくICカードも登録されることを強くおすすのします。

通行許可ゲートの追加

このユーザが通行できる SD-Gate V をここで登録して、IC カードまたは指紋のデータを PC から SD-Gate 本体に送ります。

※通行許可ゲートの追加を行うには、先にゲートの登録を行う必要があります。「6.ゲート管理」 をお読みください。この通行許可を設定する作業は「6.ゲート管理」でも行うことができま す。

1. 【通行許可ゲートの追加】ボタンを押します。



 ゲート選択補助画面が表示されるので、追加したいゲート名をダブルクリックするか、クリック して【選択】ボタンを押して下さい。(※ゲートを検索する場合は、ゲート名または備考を入力 し、【検索】ボタンを押して下さい。)

ゲート選択補助(接続中のゲート)	٥
検索	
ゲート名	
備考	
表示数 20 👤	検索
ゲートID ゲート名	
00001 gate	
選択 「 選択すると 白く 水白を閉じる	閉じる

3. 追加するゲートが【通行許可】 リストに表示されていること、またリストの【反映】 カラムに『追加』と表示されていることを確認して下さい。(※未接続のゲートもリスト表示したい場合は、リストの下の【未接続ゲートへの通行許可情報も表示】のチェックを ON にして下さい。)



4. 【ゲートに反映】ボタンを押します。完了するまでに、1ゲートあたり数秒の時間がかかります。



【反映】カラムの表示が『追加』から『済』に変更されたら、追加完了です。
 (※【ゲートに反映】の実行は、複数のユーザをあとで一括して行うこともできます。(「9.2 ゲートにユーザを反映」をご参照ください。)

※エラーメッセージ:「ゲートへの反映中にエラーが発生しました。反映を中止します。」が表示されたときは、登録しようとしている指紋またはカードが、ゲート1台あたりの最大登録数を超えている可能性があります。指紋・カードの最大登録数については、取扱説明書をご参照ください。

通行許可ゲートの削除

- 1. 【通行許可】リストから削除したいゲート名をクリックします。
- 2. 【通行許可ゲートの削除】ボタンを押します。

	通行許可			
	通行許可ゲートの追加	通行許可ゲー	トの削除	ゲートに反映
E.	ゲートID ゾーン	ゲート石	フート権限	認証モード反映
	00001 R&D	gate	ユーザ	カード 済
-	□ 未接続ゲートへの通行許可情報	職も表示(ゲートに)	反映するこよ、この)チェックを外して下さい。)

- 3. 削除するゲートの【反映】カラムの表示が『削除』に変更されていることを確認して下さい。
- 4. 【ゲートに反映】ボタンを押します。完了するまでに、1ゲートあたり数秒かかります。

_ 通行許可					
通行許可ゲートの追加	通行許可ゲー	トの削余	ゲートに	反映	D
ゲートID ゾーン	ゲート名	ゲート権限	Discourse 1"	E at	
00001 R&D	gate	ユーザ	カード	削除	
□ 未接続ゲートへの通行許可情報	職も表示(ゲートに)	反映するこは、この	チェックを外して	下さい。)	

5. 削除したいゲートが【通行許可】リストから削除されていれば、削除完了です。

6. ゲート管理

SDM-VとSD-GateVを接続して通信をおこなうための情報を管理します。【ゲート管理】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【ゲート管理】を選択して下さい。

SD. SDM-V for Felica	
メニュー 設定 一括処理 バージョン	
87日 - 111日 - 111日 - 11日 - 11	- ト管理 ログ表示 終了
ゲート管理 情報照	۲. The second
モード 照会 新規登録 編集 詳細設定を編集	詳細設定 SD-GATE コントローラ接続確認
ゲート情報	未接続
ブートID グライアンドD ブーン 1. 6 2 0	■ 開設の設定 ○ 認証して開設 ○ 常に開設 ○ 常に施設 ○ 通行許可ユーザー
	通行許可ユーザの追加 通行許可の解除 C 2クライアント表示 グートに反映 5 1クライアント表示
	ゲートID ユーザID ユーザ名 所属部署 管理権限 認証種別 反映
ゆ き 6 入室ゲート で 退室ゲート 登録日 最終更新日 検索 削除 更新	
	Anti-Passback 設定 (*)ダブルクリックにより、Anti-Passback ON/OFF
<mark>入室ゲートID</mark> ゲート名 ライアント 退室ゲートI	D ゲート名 ライアント Anti-Passback IPアドレス PortNo
<	
ログ収集サーバ 稼動中	ユーザー管理サーバ 稼動中

■6.1 ゲート情報の新規登録

SD-Gate V の情報の新規登録を行います。指紋認証ユニット1台を1ゲートとして登録しますので、 SD-Gate V に2つの指紋認証ユニットを接続している場合は、2つのゲートを登録します。

1. 【新規登録】ボタンを押します。

ゲ	- 上管理 新規登
モード <u> 照会</u> 新	規登録 講集 詳細設定を編集
	ゲート情報
ゲートID	クライアンドID 1. © 2. ©
ゾーン	開発部A棟
ゲート名	西ゲート
IPアドレス	192 168 1 104 3001
備考	搬入専用
	◎ 入室ゲート ○ 退室ゲート
登録日	最終更新日
検索	削除更新登録
ゲートIDゾー	・ン グート名 入/退

2. 各項目を入力します。

ゲートID ·····・・・・・ 必須項目です。数字5 桁を入力します。

クライアントID ・・・・・ 必須項目です。登録するゲート(指紋認証ユニット)が、コントローラ ユニットの「クライアント1」に接続している場合は1を、「クライア ント2」に接続している場合は2を選択します。

- ゾーン ····・・・・・・・ 必須項目です。 全半角 12 字まで入力できます。 設置場所などを入力します。
- ゲート名 ………… 必須項目です。 全半角 12 字まで入力できます。
- IP アドレス ………… 必須項目です。取扱説明書の「管理ソフトウエア SDM-V の接続」で SD-Gate V に設定した IP アドレスを入力します。IP アドレスのあと の「:」につづいて、下のポート番号を入力します。
- ポート番号 ······· 必須項目です。取扱説明書の「管理ソフトウエア SDM-V の接続」で SD-Gate V に設定したポート番号を入力します。

入室/退室 ·······SD-Gate V が入室用か、退室用かを指定します。

- 3. 【登録】ボタンを押します。
- 画面左下のゲートリストに、登録した SD-Gate V が追加されれば、登録完了です。 なお、インポート機能を使用して、複数の SD-Gate V を一括して登録することもできます。「9.7 ゲートをインポート」をご参照ください。

■6.2 ゲート情報の照会

登録されている SD-Gate V の情報の照会を行います。

1. 【照会】ボタンを押します。



- 2. 画面左下のゲートリストから、照会したいゲート名をクリックします。
- 3. クリックしたゲートの設定状況が画面右の【詳細設定】ウィンドウに表示されます。

■6.3 ゲート情報の編集

登録されている SD-Gate V の情報の更新・削除を行います。

更新

1. 【編集】ボタンを押します。



- 2. 画面左下のゲートリストから、更新したいゲート名をクリックします。
- 3. 【ゲート情報】の内容を変更します。(※ゲートIDの変更はできません。)
- 4. 【更新】ボタンを押します。
- 5. 画面左下のゲートリストで更新したゲート名をクリックして、表示内容が変更されていれば更新 編集完了です。

削除

- 1. 【編集】ボタンを押します。
- 2. 画面左下のゲートリストから、削除したいゲート名をクリックします。
- 3. 【削除】ボタンを押します。
- 4. 画面左下のゲートリストから、削除したいゲートが削除されていれば完了です。

■6.4 ゲート情報の詳細設定を編集

登録されている SD-Gate V への接続または切断、開錠の設定、センサー設定、通行許可ユーザの追加 と解除を行います。

- 1. 【詳細設定を編集】ボタンを押します。
- **2.** 画面左下のゲートリストから、設定したいゲートをクリックします。画面右側の【詳細設定】ウィンドウが書き込み可能になります。

SD-Gate V の接続

1. 【ゲートを有効にする】ボタンを押します。(※既に接続されている場合、このボタンは【ゲートを無効にする】と表示されます。)



<u>※ゲートの接続は SD-Gate V 1セットで行います。1台の SD-Gate V に2台のゲート(指</u> <u>紋認証ユニット)を接続している場合は、1台のゲートの接続を有効にすると、もう1台のゲー</u> <u>トの接続も有効になります。</u>

- **2.** 「ゲートへの接続に成功しました。このゲートは利用可能です。」と表示されたら、【OK】ボタンを押します。
- 3. 「接続中」と表示されれば、接続完了です。

SD-Gate V の切断

トの接続も無効になります。

- 2. 「未接続」と表示されれば、切断完了です。
- 開錠の設定

開錠の設定は、認証して開錠、常に開錠、常に施錠の3通りです。

	-開錠の設定 で 認証して開錠	○常に開錠	○ 常に施錠	
l	┌通行許可ユーザ―――			
l	124	1 13		

※設定したいゲートが未接続の場合は設定できません。

※入退室セットで1つのドアに設置している場合、両方のゲートの設定を同じにする必要があります。

開錠方法	設定
認証して開錠	【認証して開錠】のラジオボタンをクリックして下さい。
常に開錠	【常に開錠】のラジオボタンをクリックして下さい。
常に施錠	【常に施錠】のラジオボタンをクリックして下さい。

センサー設定

ドアセンサーとアラームが設置されているドアで、ドアがきちんと閉められていない半ドア状態 の場合にアラーム音を出す/出さないを設定します。

-センサー設定	
○ アラーム ON	● アラーム OFF

※設定したいゲートが未接続の場合は、設定できません。

アラーム音	設定
出す	【アラーム ON】のラジオボタンをクリックして下さい。
出さない	【アラーム OFF】のラジオボタンをクリックして下さい。

通行許可ユーザの追加

※通行許可ユーザの追加を行うには、先にユーザの登録を行う必要があります。「5. ユーザ管理」 をお読みください。この通行許可を設定する作業は「5. ユーザ管理」でも行うことができます。

1. 【通行許可ユーザの追加】ボタンを押します。

Q	通行許可ユーザの追加		通行許可の解	〇 2クライア 除 ① 1クライア	ント表示 ント表示	ゲートに	反映
	7 1 10	7. #10	ユーザ名	所属部署	管理権限	認証種別	反映 🔺
	00003	0000000001	f	無所属	管理者	指紋	済
	00003	0000000002	С	無所属	管理者	カード	済
	00003	0000000003	cf	無所属	管理者	両方	済
	00003	0000009001	9001	無所属	ユーザ	指紋	済
	00003	0000009002	9002	無所属	ユーザ	指紋	済

 ユーザ検索画面が表示されます。追加したいユーザ名をダブルクリックするか、クリックして【選 択】ボタンを押して下さい。(※ユーザを検索する場合は、ユーザ名または備考を入力し、【検索】 ボタンを押して下さい。なお、ユーザ管理で【認証方法】が選択されていないユーザは、このユ ーザ検索画面には表示されません。)

	2
_ 検索	1
ユーザ名	
備考	
表示数 20 ▼ 検索	
ユーザID ユーザ名	ſ
0000000001 セキュア花子	
0000000002 セキュア花子 2	
000000004 セキュア化士4	
選択 「 選択すると、ウインドウを閉じる 閉じる	1

- 3. 追加したユーザが【通行許可ユーザ】リストに表示されていること、また、【反映】カラムに『追加』と表示されていることを確認して下さい。
- **4.** 1台の SD-Gate V に2台の指紋認証ユニットを接続している場合は、「1クライアント表示」 「2クライアント表示」を切り替えながら、どのゲートにどのユーザが登録されているかを確認 します。



「1クライアント表示」では、編集中のゲート(指紋認証ユニット)の通行許可ユーザのみが 表示されます。「2クライアント表示」では、同じSD-Gate Vのもう1台のゲート(指紋認証 ユニット)の通行許可ユーザも併せて表示します。 特にアンチパスバック機能(「6.5 アンチパスバックの設定」参照)を利用する際には、入室したユーザが退室できないことがないよう、2クライアント表示を行って確認されることをおすすめします。

- 【ゲートに反映】ボタンを押します。
 ※反映処理はSD-Gate V 1セットで行います。1台のSD-Gate V に2台のゲート(指紋認 証ユニット)を接続している場合、反映処理はこの2ゲート分が同時に行われるため、反映処理 中は自動的に「2クライアント表示」となります。
- 6.【反映】の表示が『追加』から『済』に変更されたら、追加完了です。完了するまでに、1ユー ザあたり数秒~+数秒の時間がかかります。
 ※【ゲートに反映】の実行はあとで一括して行うこともできます。(「9.2 ゲートにユーザを反 映」をご参照ください。
 ※エラーメッセージ「ゲートへの反映中にエラーが発生しました。反映を中止します。」が表示 されたときは、登録しようとしている指紋またはカードが、ゲート1台あたりの最大登録数を超 えている可能性があります。指紋・カードの最大登録数については、取扱説明書をご参照くださ い。

通行許可ユーザの削除

- 1. 【通行許可ユーザ】リストから削除したいユーザ名をクリックします。
- 2. 【通行許可の解除】ボタンを押します。

通行許可ユーザの追加	丁の解除		ゲートにあ	反映
	所属部署	管理権限	認証種別	反映 🔺
100000001 card001	無所属	ユーザ	カード	済 🗕
100000002 test002	無所属	ユーザ	指紋	済
)0000000000000000000000000000000000000	無所属	ユーザ	指紋	済
)000000004 test004	無所属	ユーザ	指紋	済 📃

3. 削除したいユーザの【反映】カラムに『削除』と表示されていることを確認して下さい。

4. 【ゲートに反映】ボタンを押します。完了するまでに、1ユーザあたり数秒の時間がかかります。

5. 削除したいユーザが【通行許可ユーザ】リストから削除されていれば、削除完了です。

■6.5 アンチパスバックの設定

アンチパスバック(Anti-Pass Back)とは、1つのドアに入室用・退室用の認証装置を用意して、入室時 に認証した人しか退室時に認証されないようなしくみのことです。不正な方法で入室した人は退室時にエ ラーとなります。また、すでに入室した人からカードを受け取ってもう一度入室を試みてもエラーとなり ます。入退室を厳重に管理したい場合などに有効です。

1. 1台の SD-Gate V の、2つの指紋認証ユニットを「入室ゲート」「退室ゲート」として登録すると、画面下のアンチパスバック設定ウィンドウに表示があらわれます。

グライアントID グライアントID グート ID 00003 1.6 2.0 ゾーン 開発部 日棟 ブーン	ト ID 00004 2. €
ワーン 開発部日棟 リー	
	/ 開発部B棟 _
ゲート名 会議室1 グート	名 会議室 1
IPアドレス 192 168 1. 248: 3001 IPアド	ドレス 192 168 1 248 3001
備考 備考	
◎ 入室ゲート ○ 退室ゲート 入室ゲート	

						Anti-Pass	back 設定 🤉	ĸ)ダブルクリックにより、A	nti-Passback	< ON/OFF
	入室ゲートID・	ゲート名	ライアント	退室ゲートID	ゲート名	ライアント	Anti-Passback	IPアドレス	PortNo	
1	00003	会議室1	1	00004	会議室1	2	OFF	192.168.1.248	3001	

- 2. アンチパスバック機能を有効にしたいゲートを選択し、ダブルクリックしてください。
- 3. 【Anti-Pass Back】カラムが「ON」になれば設定完了です。OFF にするには、再度ゲートを 選択してダブルクリックします。

		A	Anti-Passl	ach in it (*):	ダブルクリックにより、An	iti-Passback ON/OFF
入室ゲートID ゲート名 ライアント	退室ゲートID グ	ブート名	ライアント	Anti-Passback	IPアドレス	PortNo
00003 会議室1 1	00004 会	È議室1	2	ON	92.168.1.248	3001

■6.6 接続エラーについて

接続エラーメッセージ

SDM-V は、起動している間は「接続中」のゲートに対して常にログ収集の巡回を行っています。SDM-V の起動中に SD-Gate V への接続エラーが発生すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。



このメッセージが表示された場合、【接続を有効にする】ボタンを押して、再接続してください。 それでもエラーとなる場合は、【接続を無効にする】ボタンを押して当該の SD-Gate V との接続 を切断し、PC および SD-Gate V の接続を確認してください。

接続エラーログ

ゲート接続エラーが発生すると、SDM-V のインストールフォルダ(デフォルトでは C:¥Program Files¥SecureDesign¥SDMV_F(またはSDMV_M))にerrorlog.txt というフ ァイルが作成され、CSV形式でエラーログが記録されます。日時、エラー番号、エラー内容、ゲ ートIDが保存されます。接続エラーの際にご確認いただくことをおすすめします。

例) 2007/06/08,16:15:29,9001,ゲート接続エラー【00105】

7. ログ表示

SD-Gate Vから収集されたログは SDM-V データベースに保存されます。これらのログを、期間、ロ グタイプ、ユーザ名、部署名、ゲート名、入退区分、ゾーン名で検索し、表示することができます。また、 CSV 出力することもできます。【ログ表示】ボタンを押すか、左上の【メニュー】から【ログ表示】を選 択して下さい。

SD. SDM-V for Felica	
メニュー 設定 一括処理 バージョン	
2010年1日 2015年1日 11	尚事于 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
ログ表示・一覧表示	
口ノ衣小 見衣小	
✓ 自動表示(最新21件のログ情報を自動表示します。) ログ抽出条	e件 CSV出力 表示
期 間 2008/06/25 ~ 2008/07/02 ユーリ名	クニト名
ログタイプ 認証ログ 🗾 部署名	ゲート入退区分 入退室 🚽
	ブーン名
日時 ログNo.ログ内容	ユーザID ユーザ名 所属部署名 ゲート名 ゲート入退区分 ゾーン: 話
2008/07/02 09:38:44 1 退室しました。	00000000 cf 無所属 サーバ室 退室 管理部
2008/07/02 09:38:35 1 入室しました。	00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部
2008/07/01 16:23:00 1 入室しました。	00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 .
2008/07/01 16:22:50 1 退室しました。	00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部
2008/07/01 16:22:38 1 入室しました。	00000910 9100 無所属 会議室 1 入室 開発部 .
2008/07/01 16:22:26 1 退室しました。	00000910 9100 無所属 会議室 1 退室 開発部 .
2008/07/01 16:22:23 1 入室しました。	00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 🚺
2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。	00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部
2008/07/01 16:22:15 1 入室しました。	00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部
2008/07/01 16:21:13 1 入室しました。	00000910 9100 無所属 会議室 1 入室 開発部
2008/07/01 16:21:09 1 退室しました。	00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部
2008/07/01 16:18:37 1 退室しました。	00000000 f 無所属 会議室1 退室 開発部
2008/07/01 16:18:34 1 入室しました。	00000000 f 無所属 会議室1 入室 開発部
2008/07/01 16:18:17 1 退室しました。	00000000 f 無所属 会議室1 退室 開発部
	S
	で理社 シバー 統飾山

■7.1 ログ表示

指定した条件に一致するログを検索して表示します。【自動表示】がチェック ON の場合は、条件に一致 する最新のログを自動的に表示します。

1. 【自動表示】がチェック ON の場合はチェックをはずします。

		グ表示	一覧表	表示	_
<	☑ 自動表示(最	新2110のログ情報を	自動表示します。)	ログ抽	3
	期間	2007/12/14	- 2007/12/21	「ユーザ名」	_
	ロガカイゴ	्रियम्त्रान्त्र <i>स</i>		如翌夕	-

- 2. ログ抽出条件を指定します。(※抽出条件は、期間、ログタイプ、ユーザ名、部署名、ゲート名、 入退区分、ゾーン名の7つです。)
- 3. 【表示】ボタンを押すか、【自動表示】をチェック ON にします。
- 4. 上記1. で指定した抽出条件に一致したログがリスト表示されます。

	^{SD.} SDM-V for Felica							
都名管理 ユーザ管理 グート管理 ログ表示 教T ログ表示 一覧表示 「 自動表示(最新21件のログ場機ど自動表示します。) ログ抽出条件 CSV出力 表示 期間 [2008/06/25] [2008/07/02] ユーザ名 グート名 「 「 10 万タイブ 全てのログ 「 第署名 「 グート名 」 10 万タイブ 全てのログ 「 第署名 「 ブートス 」 ご ・ 」 ジーン ● (マージ名 」 ・ ン ン ご ・ ン ン ご ・ ン ン ご ご ・ ン ン ご ご ご ン ン ご ご ン ン ン ご ご ン ご ご ご ン ン ン ン ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご	メニュー 設定 一括処理 バージョン							
ログ表示 一覧表示	部署管理 ユーザ	管理 ゲート管理 ログ	表示					終了
自動表示(最新21件のログ情報を自動表示します。) ログ抽出条件 CSV出力 表示 期間 2008/06/25 2008/07/02 ユーザ名 グート名 ログタイプ全てのログ 部署名 グートス アートス アートス 2008/07/02 0.9 部署名 アートス アートス アートス 2008/07/02 0.9 10 新営 アーバ室 現室 管理部 2008/07/02 0.9:39:02 16 開設しました。 00000000 イー・ハ室 現室 管理部 2008/07/02 09:39:32 18 開設しました。 00000000 イーバ室 現室 管理部 2008/07/02 09:39:35 1 空しました。 00000000 イーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:39:35 1 をしました。 00000000 イーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:39:35 1 大ましました。 00000000 イ 一 ハご室 入室 管理部 2008/07/01 16:22:50 1 おましました。 00000000 イ 二 小 バ 小 <tr< th=""><th>ログ表示</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr<>	ログ表示							
「自動表示(最新21400口グ情報性自動表示します。) ログ抽出条件 CS V出力 蒸元 期間 2008/06/25 2008/07/02 ユーザ名 グート名 「ワクタイブ 全てのログ 部署名 ワート名 アート名 2008/07/02 09:38:02 18 開設しました。 ワーンコ 2008/07/02 09:38:02 18 開設しました。 ワーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:38:02 18 開設しました。 00000000 cf 素所属 ワード名 ワーン・ 2008/07/02 09:38:44 18 開設しました。 000000000 cf 素所属 ワーバ室 退空 管理部 2008/07/02 09:38:35 1 入室しました。 000000000 cf 素所属 ワーバ室 入空 管理部 2008/07/02 09:38:35 1 入室しました。 000000000 cf 素所属 ワーバ室 入空 管理部 2008/07/02 09:38:35 1 入室しました。 000000000 cf 素所属 ワーバ室 入空 管理部 2008/07/01 16:22:50 18 開設しました。 000000000 cf 素所属 会議室 入空 開発部 2008								
期間 2008/06/25 2008/07/02 ユーザ名 ブート名 ログタイブ 全てのログ 部署名 グート入退区分 入退室 ソーン3 2008/07/02 09:39:02 18 開放しました。 ソーン3 2008/07/02 09:39:02 18 開放しました。 ワーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:39:44 1 調査しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 込室 管理部 2008/07/02 09:39:44 1 過室しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:39:35 1 人室しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:35 1 人室しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:35 1 人室したん。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:55 1 急望したん。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 憩室しましたん 00000910 9100 無所属 会議室1 1 空 開	自動表示(最新21件のログ情報を	自動表示します。) ログ抽出条1	4			CSVE	вл 🗌 🥅	表示
ログタイプ 全てのログ	期間 2008/06/25 ~	2008/07/02 ユーザ名			ゲートキ	3		
日本の中に見までの日の ワーパターの ワクトを ワーパターの ワーパターの ワーパターの ワーパターの ワーパターの ワーパターの ワーパターの ログルの ワーパターの ログルの ログル ログルの ロ ログルの ログルの ログルの ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	ログタイプ 全てのログ	▼ 部署名			ゲート入	退区分入	退安	
日時 ログNo. ログ内容 ユーザ10 ユーザ10 ユーザ2 所属部署名 ゲート名 ゲート入退区分 ゾーン・ 2008/07/02 09:39:02 18 開錠しました。 0000000 ケーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:38:44 1 退室しました。 00000000 cf 素所属 サーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:38:44 1 退室しました。 00000000 cf 素所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:55 18 開錠しました。 00000000 cf 素所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:08 144 デバイスに電源が入りました。 00000000 cf 素所属 サーバ室 入室 開発部 2008/07/01 16:22:01 18 間なしました。 00000000 cf 素所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:01 1 温型しました。 00000910 9100 素所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:42 250 指							12 I	
日時 ログNo. ログ内容 ユーザID ユーザ名 所属部署名 ゲート名 ゲート入退区分 ゾーン 1 2008/07/02 09:39:02 18 開錠しました。 ウロの000000 cf 無所属 サーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:38:44 18 開錠しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:38:55 18 開酸しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:55 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:08 144 デバイスに電源が入りました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/01 16:23:00 18 開酸しました。 00000000 cf 無所属 ウーバ室 入室 管理部 2008/07/01 16:23:00 11 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 13 開酸しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 13 開酸しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 13 開酸しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退金しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退金しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退金しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:34 1 入室 目発部 2008/07/01 16:22:32 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:34 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部 2008/07/01 16:22:33 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部 2008/07/01 16:22:31 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部 2008/07/01 16:22:32 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部 2008/07/01 16:22:32 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部 2008/07/01 16:22:31 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室 1 迅室 開発部					ゾーンギ	5		
日時 日クれる: 日日の: 日日の: <th日の:< th=""> <th日の:< th=""> <th日の:< th=""></th日の:<></th日の:<></th日の:<>			1					
2008/07/02 08:38:44 18 開設しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:38:44 18 開設しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 退室 管理部 2008/07/02 09:38:44 1 退室しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:55 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:06 144 デバスに電源が入りました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/01 16:22:00 1 入室した。 00000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:55 250 指数認証されましたが、カード認証があ00000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 調星しました。 0000010 第所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:40 250 指数認証されましたが、カード認証があ00000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:43 10 周鐘しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:38 1		- <u>- ロク内谷</u> 	1-910	ユーリ名	所偶部看名	クート名し		
2008/07/02 09:38:44 1 温室しました。 0000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:44 1 入室しました。 0000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:44 1 人室しました。 0000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/02 09:38:55 1 人室しました。 00000000 cf 無所属 サーバ室 入室 管理部 2008/07/01 16:22:00 18 開錠しました。 0000010 100 無所属 大室 開発部 2008/07/01 16:22:00 18 開錠しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 18 開錠しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 見室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認認されましたが、カード認証があ00000000 cf 無所属 会議室1 見室 開発部 2008/07/01 16:22:43 1 入室 開発部 00000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 <	2000/07/02 03:33:02 10	開設しました。				サーバ室	退安	「日日印」」
2008/07/02 00:38:35 1 人型にあした。 0000000 cf 第//雨 ソーパ室 人室 管理部 2008/07/02 00:38:35 1 人型にあした。 0000000 cf 第//雨 ソーパ室 人室 管理部 2008/07/02 09:38:06 144 デパイスに電源が入りました。 0000000 cf 第//雨 ソーパ室 人室 管理部 2008/07/01 18:23:00 18 開館としました。 0000000 cf 第//雨 会議室 1 人室 開発部 2008/07/01 16:23:00 1 人室しました。 00000000 cf 第//雨 会議室 1 人室 開発部 2008/07/01 16:22:50 18 開館としました。 00000000 cf 第//雨 会議室 1 人室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退室しました。 00000000 cf 第///雨 会議室 1 見室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認認されましたが、カード認証がありの0000000 cf 第//// 第/// 第/// 第// 第 会議室 1 人室 開発部 2008/07/01 16:22:43 1 人室しました。 00000000 cf 第/// 第// 第 会議室 1 人室 開発部 2008/07/01 16:22:43 1	2000/07/02 03:30:44 10	視転しました	00000000	of	無所属	ノーバ室	退安	「日本山」
2008/07/02 00:30:00 1 入室しました。 0000000 cf 黒所属 ワーパ室 入室 管理部 2008/07/02 00:38:08 144 デパイスに電源が入りました。 0000000 cf 黒所属 ワーパ室 入室 管理部 2008/07/01 16:22:00 1 入室しました。 0000000 cf 黒所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:55 250 1 お紋認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 黒所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退室しました。 00000000 cf 黒所属 会議室1 過室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退室しました。 00000000 cf 黒所属 会議室1 過室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指紋認証されましたが、カード認証がす 00000000 cf 黒所属 会議室1 過室 開発部 2008/07/01 16:22:38 1 人室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 1 人室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 過室 <td< th=""><th>2008/07/02 09:38:35 18</th><th>間給しました</th><th>00000000</th><th>01</th><th>776 / 71 / PA</th><th>サーバ家</th><th>人家</th><th>管理部</th></td<>	2008/07/02 09:38:35 18	間給しました	00000000	01	776 / 71 / PA	サーバ家	人家	管理部
10008/07/02 09:38:08 144 デバイスに電源が入りました。 0000000 01 サーパ室 入室 開発部 2008/07/01 16:22:00 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:00 1 入室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:55 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所属 会議室1 J室 開発部 2008/07/01 16:22:50 18 開錠しました。 00000910 9100 素所属 会議室1 Jz室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所属 会議室1 Jz室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所属 会議室1 Jz室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所属 会議室1 Jz室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所属 会議室1 Jz室 開発部 2008/07/01 16:22:43 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 Jz室 開発部 2008/07/01 16:22:26 18	2008/07/02 09:38:35 1	入室しました。	00000000	cf	無所属	サーバ室	人室	管理部
2008/07/01 16:22:00 18 開健しました。 00000910 9100 無所屬 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:00 1 入室しました。 00000910 9100 無所屬 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:55 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所屬 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 18 開健しました。 00000910 9100 無所屬 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退室 見空部 208 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:38 18 開健しました。 00000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:28 1 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:26 1 退室しました。 00000000 cf 無所属 会議室1 退室	2008/07/02 09:38:08 144	デバイスに雷源が入りました。	00000000	61	75577174aq	サーバ家	入室	管理部
2008/07/01 16:22:300 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:50 1 検放超症されましたが、カード認証があ0000000 cf 無所属 会議室 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 線型しました。 2008/07/01 16:22:50 1 線型しました。 2008/07/01 16:22:50 1 線型しました。 2008/07/01 16:22:38 18 開放しました。 2008/07/01 16:22:38 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:28 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:28 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:28 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:29 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:39 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:19 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:19 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:19 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:19 1 浸室しました。 2008/07/01 16:22:19 1 浸面しました。 2008/07/01 16:22:19	2008/07/01 16:23:00 18	開給しました.				余議室1	入室	開発部
2008/07/01 16:22:55 250 指数認証されましたが、カード認証があ0000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:50 18 開錠しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:50 1 退室 開錠部 0000010 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ00000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:43 1 入室しした。 0000010 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:38 1 入室しした。 0000010 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 250 16 お数認証されましたが、カード認証があ00000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:22 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 見室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 <td< th=""><th>2008/07/01 16:23:00 1</th><th>入室しました。</th><th>00000910</th><th>9100</th><th>無所属</th><th>会議室1</th><th>入室</th><th>開発部</th></td<>	2008/07/01 16:23:00 1	入室しました。	00000910	9100	無所属	会議室1	入室	開発部
2008/07/01 16:22:50 18 開錠しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ 0000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ 0000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:38 18 開鍵しました。 00000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:38 11 入室しました。 00000000 cf 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:32 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:23 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:31 10 至した。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室	2008/07/01 16:22:55 250	指紋認証されましたが、カード認証がる	ŧ 00000000	cf	無所属	会議室1	入室	開発部
2008/07/01 16:22:50 1 退空しました。 2008/07/01 16:22:40 250 1 設空しました。 2008/07/01 16:22:40 250 1 総数認証されましたが、カード認証がき00000000 cf 煮所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:38 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:38 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:28 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:28 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:28 1 入室しました。 2008/07/01 16:22:28 1 温室 開発部 2008/07/01 16:22:28 1 温室 開発部 2008/07/01 16:22:28 1 温室 開発部 2008/07/01 16:22:28 1 温室しました。 2008/07/01 16:22:29 1 温をしました。 2008/07/01 16:22:29 1 満室しました。 2008/07/01 16:22:19 1 温をしました。 2008/07/01 16:22:19 1 1 温をしました。	2008/07/01 16:22:50 18	開錠しました。			21112211100	会議室1	退室	開発部
2008/07/01 16:22:43 250 指数認証されましたが、カード認証があ0000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:38 18 開錠しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:38 1 入室しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 250 指数認証されましたが、カード認証があ0000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:26 18 開錠しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 退室しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 入室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:19 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 Ja室 開発部 2008/07/01 16:22:19 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 Ja室 開発部	2008/07/01 16:22:50 1	退室しました。	00000910	9100	無所属	会議室1	退室	開発部
2008/07/01 16:22:38 18 開錠しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:38 1 入室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 250 指数認証されましたが、カード認証があ 00000000 cf 黒所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:26 18 開鍵しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 退室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 入室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:13 1 周室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 Ja室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 Ja室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室1 Ja室 <th>2008/07/01 16:22:43 250</th> <th>指紋認証されましたが、カード認証がる</th> <th>ŧ 00000000</th> <th>cf</th> <th>無所属</th> <th>会議室1</th> <th>退室</th> <th>開発部</th>	2008/07/01 16:22:43 250	指紋認証されましたが、カード認証がる	ŧ 00000000	cf	無所属	会議室1	退室	開発部
2008/07/01 16:22:38 1 入室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:22 250 指紋認証されましたが、カード認証がま00000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:24 18 開錠しました。 00000910 9100 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:26 1 退室しました。 0000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:23 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:32 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:31 1 茶型しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部)	2008/07/01 16:22:38 18	開錠しました。				会議室1	入室	開発部
2008/07/01 16:22:32 250 指紋認証されましたが、カード認証があ0000000 cf 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:26 18 開錠しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:26 1 退室しました。 0000010 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 退をしました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 入室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 入室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:19 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部	2008/07/01 16:22:38 1	入室しました。	00000910	9100	無所属	会議室1	入室	開発部
2008/07/01 16:22:26 18 開錠しました。 2008/07/01 2022:22:3 1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:28 1 退型 見欠 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 見室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:13 1 入室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 見室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 見容部 > >	2008/07/01 16:22:32 250	指紋認証されましたが、カード認証がる	ŧ 00000000	cf	無所属	会議室1	退室	開発部
2008/07/01 16:22:26 1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:23 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:23 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 入室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 1 通 日本	2008/07/01 16:22:26 18	開錠しました。	1			会議室1	退室	開発部
2008/07/01 16:22:23 18 開錠しました。 2008/07/01 16:22:23 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:23 1 入室 見菜 開発部 会議室1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:19 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 4	2008/07/01 16:22:26 1	退室しました。	00000910	9100	無所属	会議室1	退室	開発部
2008/07/01 16:22:23 1 入室 開発部 2008/07/01 16:22:19 18 開錠しました。 00000910 9100 無所属 会議室 1 退室 開発部 2008/07/01 16:22:19 1 退室 開発部 <t< th=""><th>2008/07/01 16:22:23 18</th><th>開錠しました。</th><th></th><th></th><th></th><th>会議室1</th><th>入室</th><th>開発部</th></t<>	2008/07/01 16:22:23 18	開錠しました。				会議室1	入室	開発部
2008/07/01 16:22:19 18 開錠しました。 2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 ・ 1 退室しました。 00000910 9100 黒所属 会議室 1 退室 開発部 ↓ ・ 1 またいのでは、「「「」」」 日本のでは、「「」」 日本のでは、「「」」 日本のでは、「「」」 日本のでは、「」 日本のでは、「」」 日本のでは、「」 日本のでは、「」」 日本のでは、「」」 日本のでは、「」」 日本のでは、「」」	2008/07/01 16:22:23 1	入室しました。	00000910	9100	無所属	会議室1	入室	開発部
2008/07/01 16:22:19 1 退室しました。 00000910 9100 無所属 会議室1 退室 開発部 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	2008/07/01 16:22:19 18	開錠しました。				会議室1	退室	開発部
	2008/07/01 16:22:19 1	退室しました。	00000910	9100	無所属	会議室1	退室	開発部 →
	1							
	Norma (name)44			_		10		
マガル集会にが 統約山 さんぜん 施利山	<							>
ロン11(末) 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/1 1/	ログ収集サーバ 稼動中	ユーザー管理	モサーバ オ	家動中				

■7.2 ログの CSV 出力

指定した条件のログを CSV ファイルに出力します。(CSV とは、項目を「,(カンマ)」で区切ってつな げたデータファイルです。)自動出力については「8.1 ログの自動出力」をご参照ください。

- 1. 【自動表示】がチェック ON の場合は、チェックを外します。
- **2.** ログ抽出条件を指定します。(※抽出条件は、期間、ログタイプ、ユーザ名、部署名、ゲート名、 入退区分、ゾーン名の7つです。ログタイプについては次ページをご参照ください。)
- 3. 【表示】ボタンを押します。
- 4. 指定した抽出条件のログが表示されたのを確認し、【CSV 出力】ボタンを押します。

□ 自動表示(最新21件のログ情報を自動表示します。)	ログ抽出条件	CSV出力 表示
期間 2008/06/25 ~ 2008/07/02	ユーザ名	「ゲート名
ログタイプ 全てのログ 💌	部署名	ゲート入退区分 入退室 🗸
		ゾーン名

- 5. 【名前を付けて保存】画面が表示されたら、保存する場所とファイル名を指定して【保存】ボタンを押します。
- 6. 指定した場所に指定した名前の CSV ファイルが保存されていれば完了です。

■7.3 ログの保存期間

ログの保存期間は最大90日間となっており、指定期間を超過したログは自動的に削除されます。(ログの保存期間の指定方法については「8.2日次処理の設定」をご参照ください。)長期間のログの保管を行う 場合は、定期的にログのCSV出力をおこなう(「7.2ログのCSV出力」をご参照ください)か、または ログの自動出力機能を「する」に設定しておく(「8.1 ログの自動出力」をご参照ください)ことをおすす めします。

■7.4 ログ収集について

ログの収集は、SDM-Vが「接続中」のSD-Gate Vを巡回して自動的に収集するしくみになっています。巡回は約5秒間隔で行われます。

< ログの収集を中止する場合 >

すべての SD-Gate V との接続を切断します。(SD-Gate V の接続・切断方法については、ゲート管理の「6.4. 詳細設定を編集」をご参照ください。)

< ログの収集の秒間隔を変更する場合 >

- **1.** SDM-V が起動している場合は、終了してください。
- SDM-Vのインストールフォルダ(デフォルトではC:¥Program Files¥SecureDesign¥SDMV_F(またはSDMV_M))にある「SDMV.ini」というファイルの 変更を行いますので、変更前にバックアップを取ってください。
- **3.**「SDMV.ini」をテキストエディタでひらき、次の記述を変更します。

LOG_WAIT_INTERVAL=5

「LOG_WAIT_INTERVAL=」のあとに秒数を指定します。デフォルトでは5秒間隔に設定されていますが、たとえば、1分間隔に変更したいときは次のように記述を変更します。

LOG_WAIT_INTERVAL=60

- 4. 変更したら、かならず「SDMV.ini」ファイルを保存します。
- 5. SDM-V を起動し、【ログ表示】画面でログの入るスピードを確認し、収集の間隔が変更された ことを確認してください。

■7.5 ログ表記について

保存されるログは次のとおりです。

ログ発生タイミング	ログ 番号	ログ表記	ログ タイプ	解説
指紋・カード認証を行っ たとき	1	入室しました。 退室しました。	認証ログ	認証が成功すると記録されるログです。入 室用のゲートだと「入室しました」、退室用 のゲートだと「退室しました」になります。
	18	開錠しました。	操作ログ	認証が成功し、開錠が行われたログです。 上記ログ番号1と常にセットで記録されま す。
開錠スイッチを使用し たとき	24	開錠スイッチで開錠しまし た。 [″]	操作ログ	開錠スイッチを使用してドアを開けたとき に記録されます。
	25	開錠スイッチでの開錠を終 了しました。	操作ログ	開錠スイッチを使用してドアを開けたあ と、ふたたび施錠されたことを意味します。
ゲートの設定を変更したとき	32	デバイスの設定:半ドア検 知機能 - OFF	操作ログ	ドアセンサーが接続されていて、半ドア検 知時にアラームを鳴らすよう設定変更され たときに記録されます。
	33	デバイスの設定:半ドア検 知機能 - ON	操作ログ	半ドア検知時にアラームを鳴らさないよう 設定変更されたときに記録されます。
	209	デバイスの設定:開錠の設 定 - 常に施錠	操作ログ	認証を行っても施錠したままにしておく設 定に変更したときに記録されるログです。 SD-Gate V に電源を入れたときにも記録 されることがあります。
	210	デバイスの設定:開錠の設 定 - 常に開錠	操作ログ	つねに開錠する設定に変更したときに記録 されるログです。SD-Gate V に電源を入 れたときにも記録されることがあります。
	211	デバイスの設定:開錠の設 定 - 認証して開錠	操作ログ	認証成功すると開錠する設定に変更したときに記録されるログです。SD-Gate Vに 電源を入れたときにも記録されることがあります。
電源を入れたとき	144	デバイスに電源が入りまし た。	操作ログ	SD-Gate Vの電源が入ったときに記録されます。
半ドアを検知したとき	48	警告:半ドア検知を開始し ました。	エラー ログ	ドアセンサーが接続されていて、ドアが開 けっぱなしになっていることを検知したと きに記録されます。
	49	警告:半ドア検知を終了し ました。	エラー ログ	ドアが閉まり、半ドア状態が終了したとき に記録されます。
認証エラーのとき	231	指紋が一致しませんでし た。	エラー ログ	 ・指紋認証がエラーとなったときに記録されます。 ・IC カード+指紋で登録しているユーザが、IC カードの読み込みを行わずに指紋認証を行ったときに記録されます。
	234	カードIDが見つかりません でした。	エラー ログ	未登録の IC カードの読み込みを行ったと きに記録されます。
	236	照合を中止しました。	エラー ログ	アンチパスバック機能がONのとき、同じ ユーザの連続入室・連続退室がおこなわれ たときに記録されます。

8. その他の設定

■8.1 ログの自動出力

ログを自動で CSV ファイルに出力します。(CSV ファイルとは、各項目のデータを「, (カンマ)」で区切ってつなげたファイルです。)

1. 左上の【設定】から【ログの自動出力】を選択すると、以下の画面が表示されます。

SDM-V for Felica					
711×	設定	一括処理	15-	-ジョン	
ž	日次	の血理の設定		2-	
	0.00	の目動出力		<u> </u>	

2. ログの自動出力を行う場合【する】を選択し、出力したい項目にチェックを入れ、出力先ファイ ルを指定します。行わない場合【しない】を選択します。

ログの自動出力	×
ログの自動出力 出力設定 ログタイブ: 全	: 6 <u>する</u> 6 しない てのログ ・
出力項目:	 ☑ 日付 ☑ □ ジNo. ☑ □ ジ内容 ☑ ユーザID ☑ ユーザ名 ☑ 部署名 ☑ ゲートID ☑ ゲート10 ☑ ゲート入退区分 ☑ ゲートIPアドレス ☑ ゾーン名 ☑ 認証方法
C:¥Documents an	d Settings¥n_hama¥デスク 参照
	OK キャンセル

- **3.** 【OK】ボタンをクリックします。
- **4.** 出力先ファイルをテキストエディタで開き、上記で選択した項目が出力されていることを確認してください。

2007/12/25,13:10:25,1,入室しました,0000058901,セキュア花子,00001,総務部,サー バ室,入室,192.168.1.101,本社,指紋 2007/12/25 13:55:31 1 退室しました 0000058901 セキュア花子 00001

※【ログの自動出力】の機能をつかって CSV ファイルに出力されるログは、自動出力を【する】に設定した時点からあとに収集されるログです。自動出力を設定するより前のログを CSV ファイルに出力したい場合は、「7.2 ログの CSV 出力」の方法で出力します。 ※出力先ファイルにログが出力されないときは、画面左下の【ログ収集サーバー】のところに エラーメッセージが表示されていないか確認してください。「ログ出力ファイルエラー」と表示 されている場合、出力先ファイルのドライブ名・フォルダ名が間違っているか、またはファイ ルにロックがかかっている場合があります。

■8.2 日次処理の設定

SDM-Vでは1日に1回、SD-Gate Vの内蔵メモリのデータとPCのSDM-Vデータベースのデータとの整合性を維持するため、指定の時刻に自動的に処理を行います。これを日次処理といいます。

1. 左上の【設定】から【日次処理の設定】を選択します。



2. 日次処理の設定画面が表示されます。

☆処理の設定 SDWは1日1回、システムを最適な状 処理をおこなう時刻および処理内容の	態に保つための処理 設定を行ってくださ	を行います。 さい。
日次処理時刻 1110日:1556 に実行する。		
日次処理		
■ログの削除	90 日以前のログ	を削除する
古いログを削除します。設定可能期間は	~90日です。	
■データペースの最適化 SDMのデータペースから不要なデータを取	○ する J除き、最適な状態にし	● しない _{ます。}
■時計合わせ	● する	○しない
各ゲートの内蔵時計の時刻をPCの時計の時	刻と合わせます。	
■通行許可ユーザの再設定 各ゲートに対して、すべての通行許可ユー	 する ザの再反映を行います 	○ しない
	ок	キャンセル

3. 【日次処理時刻】:4.以降で設定する機能の実行時刻を指定します。ただし、この時刻に SDM-V が起動していない場合は日次処理は実行されません。

日次処理時刻	
	30 に実行する。

4. 【ログの削除】: SDM-V のデータベースに保存されたログのうち、保存期間を過ぎたログを削除します。保存期間を 1~90 日の範囲で指定できます。

日次処理-90 日以前のログを削除する ■ログの削除 古いログを削除します。設定可能期間は1~90日です。

5. 【データベースの最適化】: SDM-V データベースから不要なメモリを削除して、データベース の最適なサイズとパフォーマンスを保ちます。

```
■データベースの最適化 ○する ○しない
SDMのデータベースから不要なデータを取り除き、最適な状態にします。
```

6. 【時計合わせ】: 接続中の SD-Gate V に対して、PC の時刻を SD-Gate V の内蔵時計にセットします。未接続の SD-Gate V には行われません。

```
■時計合わせ ● する ● しない
各ゲートの内蔵時計の時刻をPCの時計の時刻と合わせます。
```

7. 【通行許可ユーザの再設定】: SD-Gate V に登録されているユーザと、SDM-V に登録されている通行許可ユーザを照合し、最新の状態を SD-Gate V に反映しなおします。SDM-V のユ ーザ情報を更新したまま反映し忘れる等のミスを防ぎます。

```
■ 通行許可ユーザの再設定 
● する ● しない
各ゲートに対して、すべての通行許可ユーザの再反映を行います
```

8. 【OK】ボタンを押すと、設定完了です。SDM-Vを起動しているときは、設定した時刻になる とこれらの処理が実行されます。

- 注意 -

ユーザ管理画面またはゲート管理画面において、通行許可ユーザ(通行許可ゲート)を追加・ 削除したあと【ゲートに反映】を行わないままの状態で日次処理の【通行許可ユーザの再設定】 の機能が実行されますと、それらのユーザ(ゲート)についても【ゲートに反映】の処理の対 象となり、自動的に反映されます。

9. 一括処理

■9.1 ゲートに日時を設定

PC の現在の日時を SD-Gate V にセットします。

1. 左上の【一括処理】から【ゲートに日時を設定】を選択します。

SD. SDM-V for	Felica	
メニュー 設定	一括処理	バージョン
部署管 ド ド 	ゲートにE ゲートにこ ユーザを ユーザを 部署を打 部署を打 ゲートをイ ゲートを打	時を設定 レーザを反映 (ンポート こクスポート ンポート クスポート ンポート ンポート ンポート ンポート

2. 接続中のゲートリストが表示されます。【開始】ボタンを押すと、時計合わせが実行されます。

ゲートに日時を設定				X
ゾーン	ゲートID	ゲート名	IPアドレス	結果
開発部A棟	00001	西ゲート	192.168.1.105	
「問始】 ボカンパ	ミ畑ト アノギ	(\$ 1)	BBb/	BBUT 7
		- 0 1 0	開始	

3. 『時計合わせを完了しました。』と表示されたら完了です。



4. 【閉じる】ボタンを押して終了して下さい。

■9.2 ゲートにユーザを反映

「5. ユーザ管理」でユーザごとに設定した通行許可ゲート、または「6. ゲート管理」でゲートごとに 設定した通行許可ユーザの情報を、まとめて一括して SD-Gate V に反映します。

1. 左上の【一括処理】から【ゲートにユーザを反映】を選択します。



 この時点でまだ通行許可ゲートに反映されていないユーザのリストが表示されます。通行許可ゲートが未接続の場合は表示されません。(※『ゲートに反映されていないユーザ』とは、【反映】 カラムに追加、変更、削除のどれかが表示されているユーザです。)

ケートにユーサを反映						×
ブーン ゲー	- トID ゲート名	ユーザID	ユーザ名	所属部署 1	管理権限 認言 種別 別	反映
開発部A棟	00001 西ゲート	0000000001	セキュア花子	開発部	管理者 両方 肖	削除 💧
開発部 A 棟 🛛	00001 西ゲート	0000000002	鈴木太郎	開発部	管理者 指紋 3	変更
開発部 A 棟 🛛	00001 西ゲート	0000000003	佐藤愛子	無所属	ユーザ 皆紋 j	自加
【開始】ボタンを押	してください。				開始	閉じる

- **3.** 【開始】ボタンを押すと、処理が実行されます。(1 ユーザを1 ゲートに反映するのに数秒~数 +秒かかります。)
- **4.** 『完了しました。』と表示され、一番右の【反映】カラムに「済」と表示されれば、反映完了です。



5. 【閉じる】ボタンを押して終了して下さい。

■9.3 ユーザをインポート

CSV ファイルから、ユーザ情報をインポートします。(CSV とは、項目を「, (カンマ)」で区切ってつ なげたデータファイルです。)

1. 左上の【一括処理】から【ユーザをインポート】を選択します。



2. ユーザインポート画面が表示されます。インポートする項目のチェックボックスを ON にしま す。

🖻 ユーザをインポート
インボートファイルの設定 インボート項目:
1. © ユーザID または C 自動ID ※いずれか必須 (先頭ID:[0000000001])
2. 🔽 ユーザ名 ※必須
3. 🔽 ユーザ名(ローマ字) ※必須
☞ 部署 □ 未登録の部署を自動登録
4. ☞ 部署ID
5. 🔽 部署名
6. 🗸 備考
7. 🔽 ゲート権限 (ユーザ=1, 管理者=2)
インポートファイル:
□ ユーザIDが登録済みの場合、上書きする 開始 閉じる

ユーザID・・・・・・・・・必須項目です。自動IDを選択すると、【先頭ID】に指定した番号から連番を自動で割り当てます。

- ユーザ名 ……… 必須項目です。
- ユーザ名(ローマ字) 必須項目です。
- - ······※【未登録の部署を自動登録】にチェックを入れると、未登録の部署が 指定してあった場合ユーザインポートと同時に部署登録されます。
- 部署 ID ・・・・・・・ユーザの所属部署を部署 ID で指定します。【未登録の部署を自動登録】 チェック ON の場合は必須項目です。
- 部署名 ······· ユーザの所属部署を部署名で指定します。【未登録の部署を自動登録】 チェック ON の場合は必須項目です。
- 備考 ……… 任意項目です。
- ゲート権限 ·····・・・・ 任意項目です。ユーザの権限を指定します。チェック OFF の場合はユ ーザ権限で登録されます。
- 3. インポートファイルを準備します。テキストエディタ等を使って、2.で選択した項目を「、(カンマ)」でつなぎます。項目の並び順は、2.の画面での項目の並び順と同じにします。
 - ユーザ ID ······ 数字 10 桁以内、必須 ※自動 ID の場合はインポート項目に含みません

ユーザ名 ……… 全半角 25 字以内

ユーザ名(ローマ字) 英数字 50 字以内

部署 ID ······ 数字5 桁以内

部署名 ·······・ 全半角 12 字以内 備考 ·····・ 全半角 12 字以内、空白可 ゲート権限 ····・・ 「ユーザ」の場合は 1、「管理者」の場合は 2(半角数字) (例)

10001, セキュア花子, secure hanako, 102, 総務部, 2007 年入社, 1 10002, セキュア太郎, secure tarou, 103, 営業部, , 2

- 4. 【参照】ボタンを押し、作成した CSV ファイルを指定します。
- 5. 【開始】ボタンをクリックすると、インポートを開始します。CSV ファイルにエラーが存在した場合エラーメッセージが表示され、処理が中止されます。メッセージにしたがってデータを修正してください。【ユーザID が登録済みの場合、上書きする】をチェック ON にすると、ユーザID がすでに登録されているデータの場合、インポートデータで上書きされます。
- 6. 上書きインポートで既存ユーザのゲート権限を更新した場合、【ゲートに反映】を行う必要が発生することがあります。【一括処理】>【ゲートにユーザを反映】画面を表示して、未反映のユーザがあるかどうかを確認してください。

■9.4 ユーザをエクスポート

ユーザ情報を CSV ファイルヘエクスポートします。

1. 左上の【一括処理】から「ユーザをエクスポート」を選択します。



2. ユーザエクスポート画面が表示されます。エクスポート項目を選択し、エクスポート先となる CSV ファイルを指定します。CSV ファイルにおける項目の並び順は、この画面での項目の並 び順と同じになります。

해. 그 - ザをエクスポート 🔀
「エクスポートファイルの設定
エクスポート項目:
☞ ユーザID
マ ユーザ名
▼ ユーサ名 (ローマ字) 戸 部署ID
▼
☞ ゲート権限
エクスポートファイル:
参照

3. 【開始】ボタンをクリックすると、エクスポートを開始します。

■9.5 部署をインポート

CSV ファイルから、部署情報をインポートします。(CSV とは、項目を「, (カンマ)」で区切ってつな げたデータファイルです。)

1. 左上の【一括処理】から【部署をインポート】を選択します。



2. 部署インポート画面が表示されます。インポートする項目のチェックボックスをONにします。

 ● 部署をインボート
インポートファイルの設定
インボート項目:
1. ☞ 部署ID または ○ 自動ID ※いずれか必須
(先頭ID: 00001)
2. 🔽 部署名 ※必須
3. 🔽 備考
インポートファイル:
参照
「「部署IDが登録済みの場合、上書きする」 開始 閉じる

部署 ID・・・・・・・・・・ 必須項目です。 自動 ID を選択すると、 【先頭 ID】 に指定した番号から連番を自動で割り当てます。

部署名 · · · · · · · · · 必須項目です。 備考 · · · · · · · · 任意項目です。

(例)

102, 総務部, 103, 営業部, 1998 年創設

- 4. 【参照】ボタンを押し、作成した CSV ファイルを指定します。
- 5. 【開始】ボタンをクリックすると、インポートを開始します。CSV ファイルにエラーが存在した場合エラーメッセージが表示され、処理が中止されます。メッセージにしたがってデータを修正してください。【部署ID が登録済みの場合、上書きする】をチェック ON にすると、部署ID がすでに登録されているデータの場合、インポートデータで上書きされます。

■9.6 部署をエクスポート

部署情報をCSV ファイルヘエクスポートします。

1. 左上の【一括処理】から【部署をエクスポート】を選択します。

SDM-V fo	r Felica		
メニュー 設定	一括処理	バージョン	
	ゲートに日 ゲートにコ ユーザを1 ユーザを3]時を設定 2 ーザを反映 (ンポート [クスポート	管
モード <u> 民会</u>	部署を1. 部署を1. ゲートをイ ゲートを1	ンボート クスポート ンポート こクスポート	

2. 部署エクスポート画面が表示されます。エクスポート項目を選択し、エクスポート先となる CSV ファイルを指定します。 CSV ファイルにおける項目の並び順は、この画面での項目の並び順と 同じになります。(※「無所属」はシステム値のため出力されません。)

🖻 部署をエクスポート		X
- エクスボートファイルの設定 エクスボート項目: ▽ 部署ID ▽ 部署名 ▽ 備考		
エクスポートファイル: 		参照
	開始	閉じる

■9.7 ゲートをインポート

CSV ファイルから、ユーザ情報をインポートします。(CSV とは、項目を「, (カンマ)」で区切ってつ なげたデータファイルです。)

1. 左上の【一括処理】から【ゲートをインポート】を選択します。



2. ゲートインポート画面が表示されます。インポートする項目のチェックボックスを ON にしま す。

S ゲートをインボート
インボートファイルの設定 インボート 項目:
1. ○ <u>ゲートID</u> または ○ 自動ID ※いずれか必須 (先頭ID: <mark>00001</mark>)
2. 🗹 ゾーン ※必須
3. 🔽 ゲート名 ※必須
4. ☞ IPアドレス ※必須
5. 🔽 ポート番号
6. ☞ クライアントID ※必須
7. 🔽 備考
8. 🔽 入退室区分(入室=1、退室=2)
インポートファイル:
開始 閉じる

ゲート ID ·····・ 必須項目です。【自動 ID】を選択すると、【先頭 ID】に指定した番号から連番 を自動で割り当てます。 ゾーン ·····・ 必須項目です。SD-Gate V の設置場所をわかりやすくグループ化します。 ゲート名 …… 必須項目です。 IP アドレス・・・・ 必須項目です。SD-Gate V に設定した IP アドレスを指定します。 ポート番号 · · · · · 任意項目です。チェック OFF の場合は「10001」で登録されます。 クライアント ID・必須項目です。ゲート(指紋認証ユニット)が接続しているコントローラユ ニットのクライアント番号を指定します。 備考・・・・・・・・任意項目です。 入退室区分 ····· 任意項目です。SD-Gate V が入室用か退室用かを指定します。 チェック OFF の場合、インポートされた SD-Gate V はすべて「入室」で登録されます。 3. インポートファイルを準備します。2.で選択した項目にあわせて、CSV ファイルを作成します。 項目の並び順は、2.の画面での項目の並び順と同じにします。 ゲート ID ······ 数字5 桁以内 · ※自動 ID の場合はインポート項目に含みません ゾーン·····・全半角15字以内 ゲート名 ・・・・・ 全半角 25 字以内

- IP アドレス・・・・・ 0~255 の数字4つを「.(ピリオド)」で区切ったもの
- ポート番号 …… 数字6桁以内
- クライアントID・ゲート(指紋認証ユニット)がコントローラユニットの「クライアント1」 に接続している場合は1、「クライアント2」に接続している場合は2
- 備考 · · · · · · · 全半角 12 字以内、空白可

入退室区分 …… 「ユーザ」の場合は 1、「管理者」の場合は 2(半角数字)

25001,本社2F,会議室1,192.168.1.101,3001,1,2007年設置,1 25002,本社2F,会議室1,192.168.1.102,3001,2,2007年設置,2

- **4.** 【参照】ボタンを押し、作成した CSV ファイルを指定します。
- 5. 【開始】ボタンをクリックすると、インポートを開始します。CSV ファイルにエラーが存在した場合エラーメッセージが表示され、処理が中止されます。メッセージにしたがってデータを修正してください。

■9.8 ゲートをエクスポート

ゲート情報を CSV ファイルヘエクスポートします。

1. 左上の【一括処理】から【ゲートをエクスポート】を選択します。



2. ゲートエクスポート画面が表示されます。エクスポート項目を選択し、エクスポート先となる CSV ファイルを指定します。CSV ファイルにおける項目の並び順は、この画面での項目の並 び順と同じになります。



10. バックアップとリカバリ

PC やハードディスクの故障などに備え、定期的にデータのバックアップを取ることをおすすめします。 また、古い PC から新しい PC に SDM-V を移行するときや、SDM-V の再インストールを行うときも、 バックアップとリカバリを行うことで元の状態のままの SDM-V を継続して使うことができます。

■10.1 データのバックアップ

SDM-V が起動中であれば終了し、次の4つのファイルを、USB メモリや外部ハードディスク、別のPC などに保管してください。

- 1) C: ¥Program Files ¥Secure Design ¥SDMV_F ¥SDMV.ini
- 2) C: ¥Program Files ¥Secure Design ¥SDMV_F ¥template.dat
- 3) C:¥Program Files¥SecureDesign¥SDMV_F¥GateLock.dat (※SDM-V for Mifare の場合は、C:¥Program Files¥SecureDesign¥SDMV_M)
- 4) C: ¥Program Files ¥SDMVDATA ¥SDMV.mdb

上記はデフォルトのインストール先の例です。インストール時にインストール先を変更した場合は、それぞれに対応した場所のファイルを保管してください。

※ 2台以上の PC でご利用の場合(「2.4 2 台以上の PC に SDM-V をインストールする場合」参照)は、
 各 PC の 1)のファイル、および SDM-V サーバの 2)-4)のファイルを保管してください。

- 注意 -

ログは設定日数を過ぎると自動的に削除されます。ログのバックアップについては、CSV ファイル 出力をおすすめします(「7.2 ログの CSV 出力」「7.3 ログの保存日数」参照)。

■10.2 データのリカバリ

<SDM-V データベースをバックアップ時の状態に戻したい場合 >

「10.1 データのバックアップ」で保管したバックアップファイルを、それぞれに対応した場所に上書 きコピーし、SDM-Vを起動します。

< 別の PC で SDM-V を使用する場合 または 再インストールを行う場合 >

「10.1 データのバックアップ」を行ってから、SDM-V のインストールまたは再インストールを行い、 バックアップファイルをそれぞれに対応した場所に上書きコピーし、SDM-V を起動します。

- 注意 -

リカバリによって、SDM-Vのデータはバックアップ時の状態に戻りますが、SD-Gate V本体に 反映されているユーザ情報は<u>リカバリ前のまま</u>です。SDM-V データベースのユーザ情報と SD-Gate Vのユーザ情報が一致しない可能性があり、注意が必要です。このままバックアップ時に 戻した状態で SDM-V の使用を再開する場合は、次の「10.3 データの再反映」の作業を必ず行っ てください。

■10.3 データの再反映

PC の故障などによって SDM-V の再インストールを行ったときに、バックアップファイルがなかったり、古いバックアップファイルしかなく完全なリカバリが行えないような場合には、注意が必要です。 このような場合、SDM-V データベースのユーザ情報と、SD-Gate V に登録されているユーザ情報とが、 完全には一致しない状態になることがあります。

また、SD-Gate V を交換した場合にも、SDM-V データベースのユーザ情報が SD-Gate V に登録されていなかったり、以前に登録された情報が SD-Gate V に残っている可能性があります。

これらの問題を解決するためには、SDM-V データベースのユーザ情報を再度 SD-Gate V に反映し、 また SDM-V データベースにはないユーザ情報を SD-Gate V から消去する処理が必要です。日次処理(く わしくは「8.2 日次処理の設定」参照)を行って、ユーザ情報の再反映をおこなってください。

- 注意 -

- SD-Gate V にすでに登録されているユーザ情報のうち、リカバリした SDM-V データベース 内には存在しないユーザ情報があった場合、この処理によって SD-Gate V から登録が削除さ れます。
- ・ SDM-V データベースのユーザ情報が空の状態でこの処理を実行すると、すべての SD-Gate V の登録ユーザ情報が消去されます。
 - 1. ゲート管理画面を表示し、すべてのゲートを「接続中」にします。(「6. ゲート管理」参照)
 - 2. 左上の【設定】から【日次処理の設定】を選択します。



- 3. 日次処理の設定画面が表示されます。
- 4. 【日次処理時刻】でPCの時刻の数分後を入力します。

```
日次処理時刻
```

5. 【通行許可ユーザの再設定】で「する」を選択します。

```
■通行許可ユーザの再設定 ・ する ・ しない

各ゲートに対して、すべての通行許可ユーザの再反映を行います
```

- 6. 【OK】ボタンを押して画面を閉じます。PC が【日次処理時刻】で設定した時刻になると、日 次処理がはじまり、SDM-V データベースのユーザ情報が SD-Gate V に再登録されます。ユ ーザ数が多い場合、しばらく時間がかかることがあります。
- 7. 日次処理が終了したら、4.で変更した時刻を元にもどします。

11. よくある質問

<インストールに関する質問>

- Q. 現在 SDM-V for FeliCa を使っていますが、Mifare カードを使用できますか?
 - A. SDM-V では、FeliCa カードと Mifare カードを混在して使うことができません。すべてのカードを Mifare カードに切り替える場合は、現在インストールされている SDM-V for FeliCa をアンインストールし、SDM-V for Mifare をインストールする必要があります。

〈起動・ログインに関する質問〉

- Q. ログインなしで起動するようにできますか?
 - A. 登録されているユーザの中に、管理者権限のユーザがいると、起動時に管理者によるログインが必要になります。ログインなしで起動したい場合は、現在「管理者権限」で登録されているユーザをすべて「ユーザ権限」に変更します。変更の方法については「5.4 ユーザ情報の詳細設定を編集」内の「ゲート権限の選択」をごらんください。
- Q. 管理者が不在のときに SDM-V にログインする方法はありますか?
 - A. ログインには管理者のカードまたは指紋の認証が不可欠です。管理者不在とならないよう、複数人の管理者を 設定することをおすすめします。
- Q. 管理者が退職して連絡がとれなくなってしまいました。SDM-V を使うにはどうすればよいでしょうか?
 - A. このような場合は、SDM-V にすでに登録されたデータは使用することができません。使用を再開するには、 SDM-V をアンインストールして再度インストールしなおし、すべてのデータを最初から登録しなおす必要が あります。これらの処理については、「10. バックアップとリカバリ」をごらんください。

Q. 指紋でログインしようとしたら、「指紋の登録・照合には、SD-Gate Vの接続を有効にする必要があります」というエラーメッセージが出て、ログインできません。

A. ログイン時に指紋認証を行うには、少なくとも1台のSD-Gate VがSDM-Vに登録されていて、接続が有効になっている必要があります。1台もSD-Gate Vが登録されていなかったり、登録されているゲートの接続がすべて無効になっている場合は、ログイン時に指紋認証をおこなうことができません。管理者を登録する場合は、ICカードとの併用での登録を強くお勧めします。

〈指紋に関する質問〉

- Q. 指紋スキャナをUSB ポートに接続しているのに「スキャナを接続しなおしてください」と表示されます。
 - A1. 「2.2 指紋スキャナのドライバのインストール」をご参照になり、ドライバがインストールされていること、 および COM ポート番号が 1~9 の範囲内であることを確認してください。
 - A2. SDM-V の起動中に指紋スキャナを USB ポートからはずして差し込みなおすとエラーとなります。その場合 はいったん SDM-V を終了し、USB ポートから指紋スキャナをはずして差し込みなおし、SDM-V を再度起 動してください。
 - Q. 指紋を登録し、通行許可ゲートに追加・反映しましたが、ゲートで認証できません。

A1. ユーザ管理画面の通行許可ゲートのリストを表示して、【反映】 カラムが「済」 になっていることを確認して
ください。「済」になっていなければ、【ゲートに反映】ボタンを押してください。

- A2. 指紋を SDM-V で登録するときにスキャナに指を置く角度や強さを、SD-Gate V のセンサーに指を置くと きと同じような状態にすると、認証しやすくなります。「5.4 詳細を編集」のく正しい指の置き方>を参考に してください。
- Q. 指紋認証がエラーになることが、登録したばかりのころよりも増えたような気がします。
 - A. 指紋の特徴点は、基本的には個人に固有のものであり変化しませんが、汗や皮脂、傷などによってはセンサーの読取りが悪くなることがあります。また、ときどき指紋を登録しなおすことで、精度が改善することがあります。
- Q. 指紋認証に時間がかかるときがあります。
 - A1. ログの収集中や日次処理中は、認証に若干時間がかかることがあります。
 - **A2.** 1 台の SD-Gate V の2つの指紋認証ユニットで、同時に指紋認証をおこなうと、認証に時間がかかることがあります。
 - A3. 「指紋のみ」の認証方法だと、入力された指紋をすべての登録指紋と照合する「1:N 照合」が行われるため、 指紋の登録数が増えるほど照合に時間がかかります。「IC カード+指紋」の認証方法にすると「1:1 照合」に なるため、認証がすばやく行えます。

<IC カードに関する質問>

- **Q**. すでに持っているカードを使うことはできますか?
 - A. FeliCa または Mifare は登録できます。 Suica 定期券や Edy, Felica 機能付き携帯電話などを登録することができます。
- Q.IC カードを登録し、通行許可ゲートに追加・反映しましたが、ゲートで認証できません。
 - A1. ユーザ管理画面の通行許可ゲートのリストを表示して、【反映】カラムが「済」になっていることを確認して ください。「済」になっていなければ、【ゲートに反映】ボタンを押してください。
 - A2. SD-Gate V 一台につき登録可能なユーザ数は 10,000 です。この数を超えると、SDM-V で【ゲートに 反映】の処理ができません。
- Q. 落とし物のカードが届きました。誰のものか確認できますか?
 - A. ユーザ管理画面で、そのカードを登録してみてください。「既に利用済みです。UID=XXXXXX」というメッセ ージが表示された場合、「UID=」以降の番号が、そのカードを登録しているユーザIDです。エラーにならず登 録できた場合は、未登録のカードです。(確認が終わったら、必ず仮ユーザを削除してください。)
- **Q**. FeliCa カードから Mifare カードに切り替えたいのですが。
 - A. SDM-V では、Mifare カードと FeliCa カードのデータを混在した状態でご利用いただくことはできません。 Mifare カードから FeliCa カードに利用を切り替える場合は、SDM-V for FeliCa をアンインストールしてか ら SDM-V for Mifare をインストールする必要があります。
- **Q.** IC カードのデータは一括してインポート・エクスポートできないのですか?

A. カードデータはインポート・エクスポート項目対象外となっております。

Q. 何人かで一枚のカードを共用しているのですが、どのように登録すればいいでしょうか?

A. SDM-V では一枚のカードを複数人で使用することはできません。

<ユーザに関する質問>

- Q. 通行許可ゲートに反映しようとすると、SD-Gate Vのアラームが鳴り、反映できません。
 - A. SD-Gate V の設定が完了していない可能性があります。SD-Gate V 取扱説明書の「はじめて使うとき」を ご参照ください。

〈ゲートに関する質問〉

- Q.IPアドレス・ポート番号を登録したけれど接続できません。
 - A1.SD-Gate V の取扱説明書の「管理ソフトウエア SDM-V の接続」をご参照になり、設定されている IP アド レス・ポート番号をご確認ください。またお使いの PC および SD-Gate が接続されている LAN 等のネット ワークの状況をご確認ください。
 - A2. お使いの PC にウイルス対策ソフト等がインストールされている場合や、ネットワークアクセスに制限が設定されている場合などは、SD-Gate V の IP アドレスに接続できるよう、制限を解除してください。
- Q.SDM-Vを起動したら「ゲート接続エラー」と表示されました。
 - A. 前回 SDM-V を終了したあとに、お使いの PC および SD-Gate が接続されている LAN 等のネットワークの 状況が変更された可能性があります。ネットワークの状況を確認し、SD-Gate V の取扱説明書の「管理ソフ トウエア SDM-V の接続」をご参照になり、IP アドレス等を確認してください。
- **Q**.ゲートのアラームが鳴りっぱなしになりました。どうすればアラームを止められますか?
 - A1. ドアセンサーが接続されていない状態で、ゲートのセンサー設定が「アラーム ON」となっている可能性が あります。ゲート管理の「6.4 詳細設定を編集」のセンサー設定を確認してください。
 - A2. 火災報知器等を接続している場合は、それらが異常を検知していないか確認してください。

<ログに関する質問>

- Q. 古いログが消えてしまいました。
 - A. ログの最大保持期間は 90 日となっています。ログの保持期間は「日次処理の設定」で指定された期間を過ぎ ると、自動的に削除されます。長期間のログの保管が必要な場合は、ログの CSV ファイル出力をおすすめし ます。
- Q. 「ログの自動出力」を設定しているけれど、出力されません。
 - A. 出力先ファイルのドライブ名・フォルダ名・ファイル名に間違いがないか確認してください。また、ファイル が「読み取り専用」になっていないか確認してください。
- Q.「ログの自動出力」で出力したファイルには、最近のログしか出力されません。
 - A. 自動出力で出力されるログは、自動出力を「する」に設定した時点よりもあとに収集されるログです。その時 点よりも前のログを CSV 出力する場合は、「7.2 ログの CSV 出力」をご参照ください。

<システムに関する質問>

Q. SDMV.mdb というファイルのサイズが大きくなりすぎてしまいました。

A.「日次処理の設定」で、「データベースの最適化」を「する」に設定して、日次処理を行ってください。mdb ファイルの無駄なスペースが省かれ、最適なサイズとなります。

フジデジタルイメージング株式会社